

14.4-691
1200501208080
691

東京市魚市場年報
昭和六年



始



昭和七年三月

(代謄寫)

東京市魚市場年報

(昭和六年)

東京市役所

昭和六年

東京市魚市場年報

發行所寄贈本

目次

第一章 東京魚市場	一	一、沿革	一	二、附屬商	五
一、位置及面積	一	二、設備	一	三、郵便局	五
二、建物種別及坪數	二	三、附屬冷藏庫	二	四、銀行	五
三、附屬冷藏庫	二	四、東京市魚市場建物配置圖	三	五、衛生其他	五
四、東京市魚市場建物配置圖	三	五、管理	三	六、買物處分	六
五、管理	三	六、東京魚市場組合	四	七、場內洗滌	六
六、東京魚市場組合	四	七、主要機關	四	八、防蠅及消毒	六
七、主要機關	四	一、問屋	四	九、防火施設	六
一、問屋	四	二、問屋兼仲買	四	十、交通取締	六
二、問屋兼仲買	四	三、仲買	四	十一、市況日報其他	七
三、仲買	四	四、補助機關	四	十二、市況日報其他	七
四、補助機關	四	一、小揚及輕子	四	第二章 取引	
一、小揚及輕子	四	二、附屬運送業者	四	一、商況一斑	七
二、附屬運送業者	四	三、買荷保管所營業者	五	二、月	一
三、買荷保管所營業者	五				



三月	一三
四月	一四
五月	一五
六月	一六
七月	一七
八月	一八
九月	一九
十月	二〇
十一月	二〇
十二月	二一
二、入荷状況	二二
三、入場人員及入車數	二三
四、地方出荷状況	二四
五、冷蔵庫寄託魚介状況	二五

第三章 統計

八、抄留	四〇
四、海運入荷地方別八箇年比較	四四
五、地方出荷數量七箇年比較	四七
六、冷蔵庫保管數量八箇年比較	五一
七、冷蔵品種類別出入庫數量七箇年比較	五四
八、冷蔵庫附屬製氷高八箇年比較	五六
九、鮮魚介相場八箇年比較	七九
一、近海物(其一)	七九
近海物(其二)	八二
近海物(其三)	八五
近海物(其四)	八八
近海物(其五)	九一
近海物(其六)	九四
二、活物	九七
三、關西物(其一)	一〇〇
關西物(其二)	一〇三
關西物(其三)	一〇六
關西物(其四)	一〇九
關西物(其五)	一一二
關西物(其六)	一一五
三、北海物(其一)	一一八
北海物(其二)	一二一
北海物(其三)	一二四
六、冷川魚	一二四
七、川魚	一二四

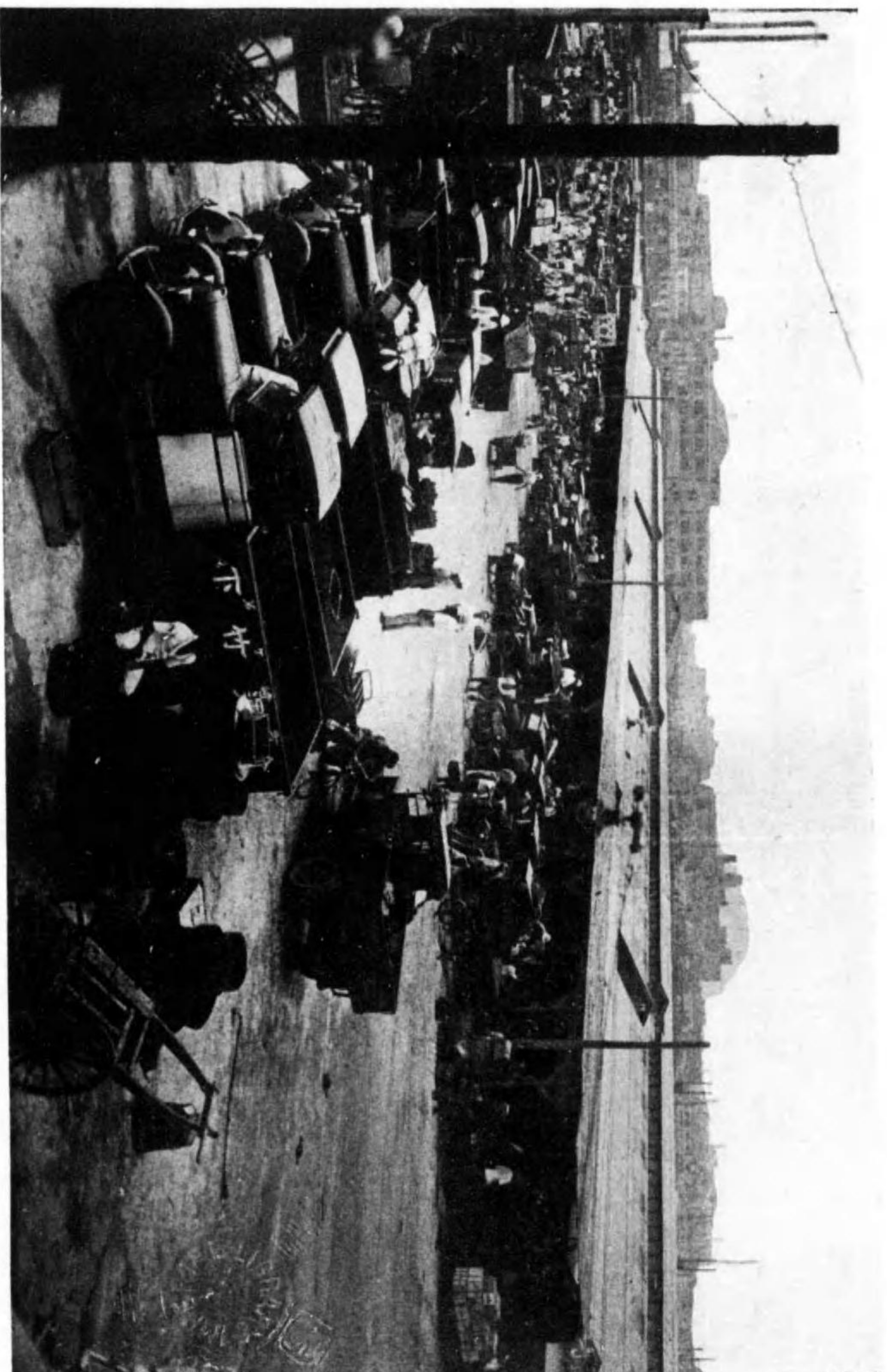
十、鹽乾魚(其一)	一二七
鹽乾魚(其二)	一三〇

附 錄

汚物搬出數量七箇年比較	一三四
府縣別產出魚類品名表	
重要魚類卸賣相場指數表	
東京市魚市場魚類入荷及地方出荷比較一覽圖	

(目次終)

東京市魚市場... (Faint text, likely a newspaper article or report about the fish market in Tokyo.)



—(鋪店揚市魚市京東)—



—(揚 荷 橋 機 縱)—



—(部 一 之 舖 店)—

144-691

昭和六年 東京市魚市場年報

第一章 東京市魚市場

一、沿革

江戸三百年の昔より魚河岸なる名稱の下に誇ある日本橋魚市

場は、大正十二年九月一日の大震災災により一朝にして烏有に歸せり。依而同魚市場組合は、芝區芝浦二丁目に約二千坪の敷地を借受け、同年九月十七日より天幕張にて臨時市場を開設せり。後更にバラック店舗七百坪を増築し、不充ながら當時の開業者八、九百名を之に收容し、日々の入荷數量二三百噸内外を取扱ひ入場者又一萬人内外を算せしが、固より其の設備不全にして、且つ其の位置市の南方に偏在し交通不便なる爲、本市は同組合の請願を考慮し、震災直後の應急施設として、海軍省より築地海軍技術研究所用地の一部を借り受け、同年十一月六日に警視廳より食品市場開設の許可を得、同月三十日バラック店舗を竣成し、日本橋魚市場組合員及同附屬業者等全部を此

處に收容し、十二月一日開場式を舉行し、翌二日より營業を開始せり。其の後年を閲すること八歳、本市は中央卸賣市場建設の爲敷地をこゝに卜し、海軍省外關係各省と幾多の折衝を重ねると共に、建設資金一千五百萬圓を計上し、舊海軍諸官衙跡五萬九千餘を買収するに至れり。こゝに於て本建築用地の關係上、前記魚市場を一時移轉するの止む無きに依り、右買収地區の一部即ち元海軍々醫學校及築地病院跡に一萬二千九百餘坪の地を劃し、昭和五年二月五日工事に着手し、七月十日完成、同二十日修祓式を擧げ、同二十三日之に移轉し、本市中央卸賣市場開設迄暫定的に營業を開始せるもの即ち現市場之なり。

二、位置及面積

京橋區築地五丁目一番地元海軍々醫學校及築地病院跡に在り。築地川東支川に沿うて隅田川口に臨み、汐留驛より陸路約十丁、隅田川驛より約二里十三丁、兩國驛より水路約一里四丁を距て、其の敷地廣袤一萬二千九百餘坪、水陸の運至便の地なり。

三、設備

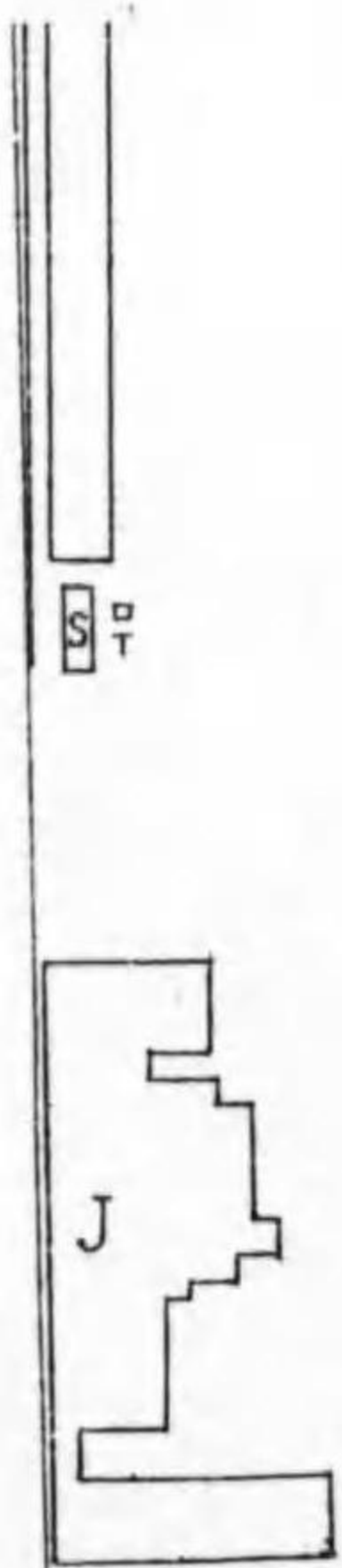
舊市場は震災直後適當なる材料乏しき時建設せられたる關係上、建物の構造は總て亞鉛板葺、裏板張の木造バラックたりしが、現市場も亦中央卸賣市場開設迄の暫定的建物たるが爲め之と同様式のものにして、魚商店舗は奥行五間半長さ十五間乃至十七間半を一棟とせるもの三十五棟、之を圍繞して十八棟の買荷保管所あり。之等の建物凡ては葭藁張日覆を廻らし、其の外廓に大通路を距て、附屬商其の他の建物、別表配置圖の如く存在す。場内一圓はコンクリート舗裝にして、汚水雨水は無蓋の小溝をして店舗際より徑一尺乃至一尺五寸の暗渠に導き、更に此の暗渠により築地川東支川に排出せしむ。衛生施設として三十四ヶ所に水道栓を設置し、汚物掃除後は此の水栓にゴムホースを取付け市場路面洗滌の用に供し、有事の際は之と共に他に設備しある三ヶの水栓と相俟つて消火の用を兼ねしむ。水運に依る鮮魚介の陸揚場としては隅田川沿岸の縦棧橋及築地川東支川に沿ひ横三五米出幅三、五米のもの二箇の木造横棧橋を架設す。各店舗には間口三、〇三米毎に水道栓一箇と共に百燭光電燈二乃至四燈を設備し更に屋内通路上に百燭光一燈を設備す。尙荷捌所、棧橋、通路等には警戒と作業の安全とを期し、百燭乃至五百燭光の電燈を夫々適所に設備す。

四、建物種別及坪數

種別	摘要	坪數
魚商店舗	三五棟	二、九七四・五八三
買荷保管所	二〇棟	四三二・五〇〇
作業所	一棟	六八・〇〇〇
附屬商店舗	二棟	一〇八・〇〇〇
飲食店々舗	二棟	一三七・〇〇〇
東京市事務所	一部二階建 附屬建物共一棟(延)	一八五・〇〇〇
郵便局舎	二階建一棟(延)	一二五・五〇〇
東京魚市場組合事務所	二階建一棟(延)	七五・〇〇〇
銀行用建物	二階建一棟(延)	八八・〇〇〇
魚類倉庫	一棟	一〇八・〇〇〇
水販賣所	二棟七ヶ所	四四・〇〇〇
鹽販賣所	一ヶ所	八・〇〇〇
材料倉庫	一棟	一五・〇〇〇
木炭倉庫	一棟	六・〇〇〇
守衛見張所	二棟	三・〇〇〇
水陸請願巡查派出所	二棟	五・〇〇〇
共同便所	一〇棟	三五・〇〇〇
小揚休憩所	一棟	一三五・〇〇〇
同炊事場	一棟	二五・〇〇〇
公舎	一棟	一一・五〇〇
宿舎	一棟	一一・五〇〇

F G H J K L M N O P Q R S T U

郵便局其他
組合事務所
銀行其他
市事務所
小揚休憩所
倉庫
章魚煮場
無料買荷保管所
塩販賣所
守衛見張所
請願巡查派出所
塵棧橋
便所
たばこ販賣所
自動車庫
消火栓



清

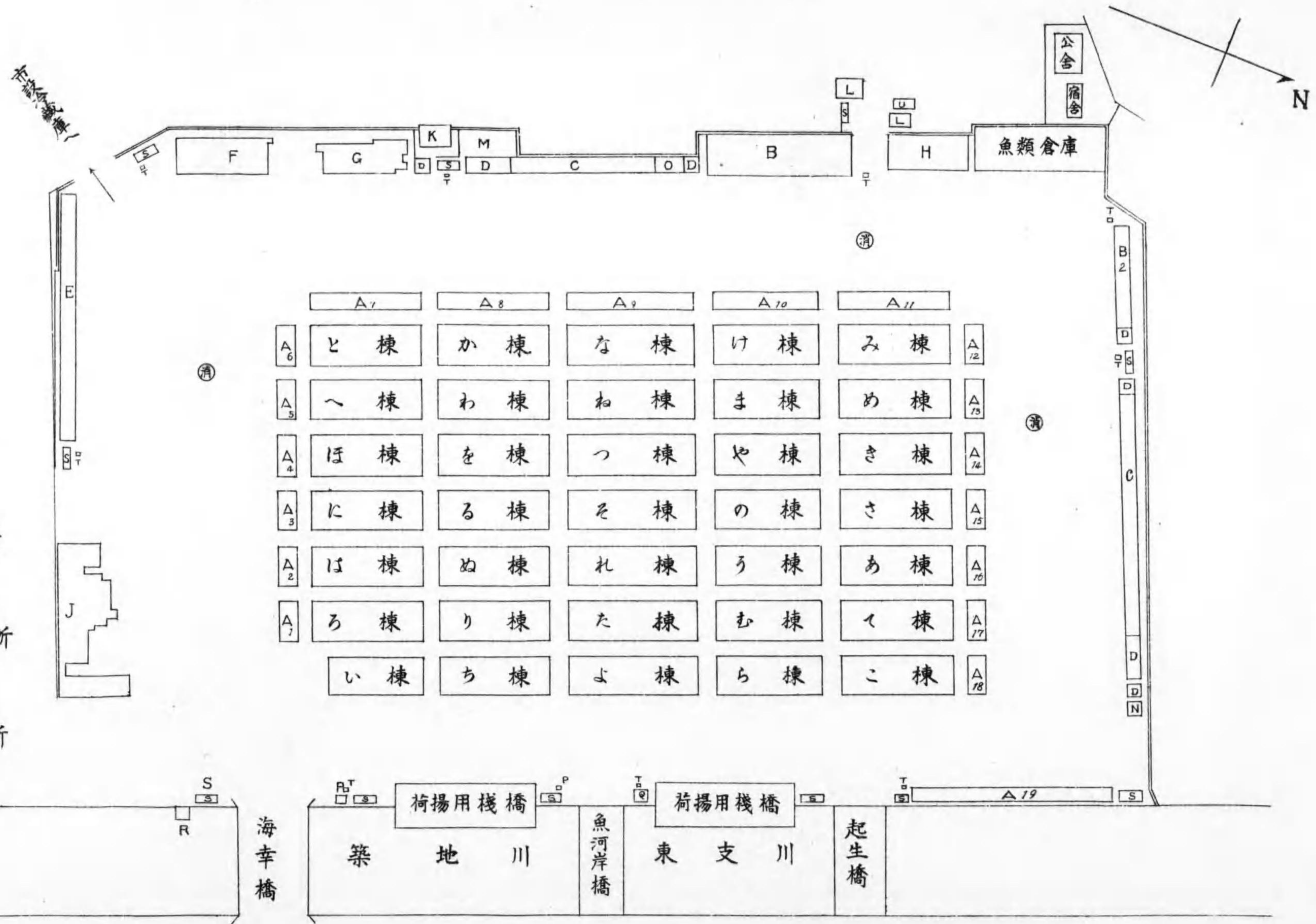
S
R

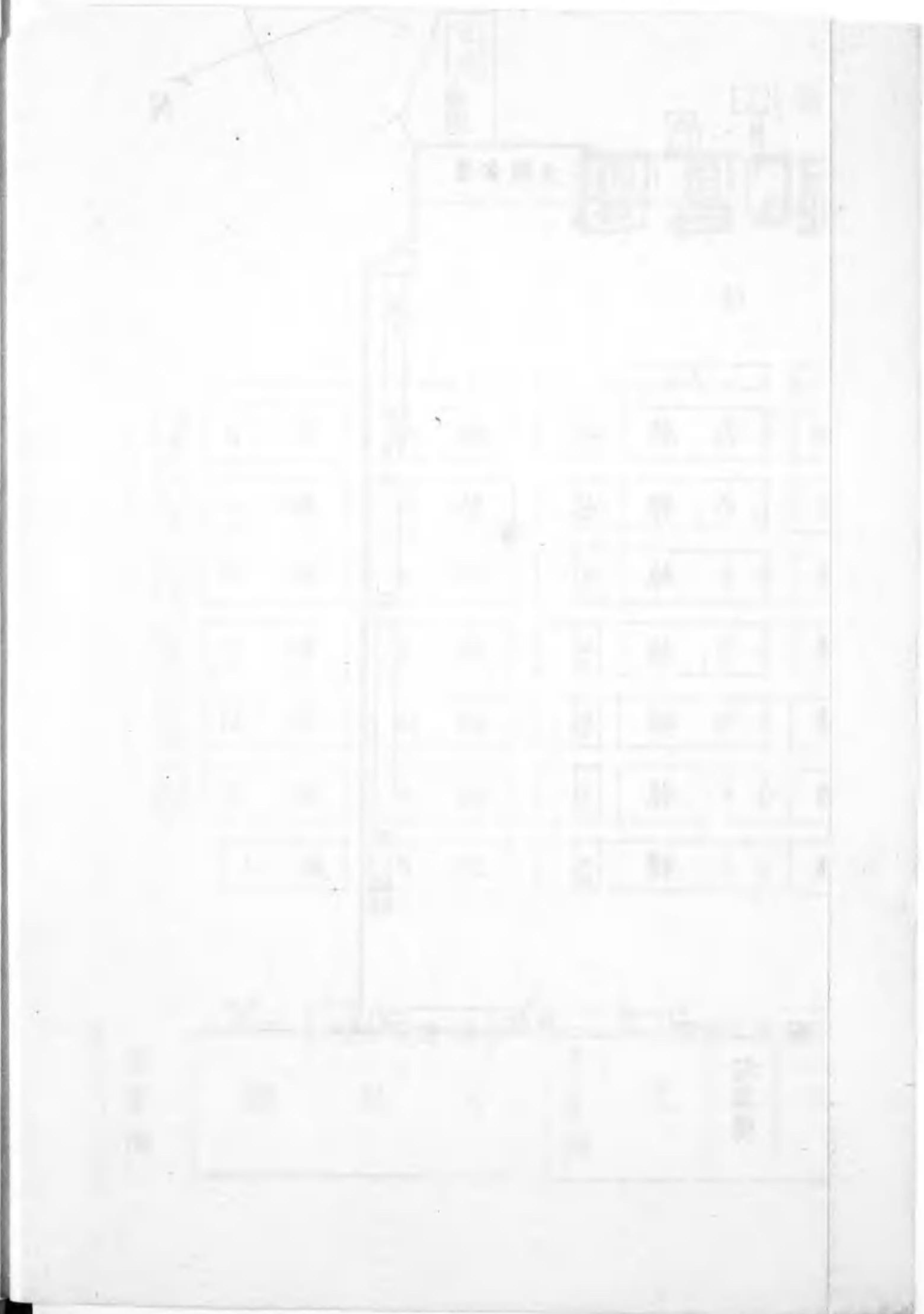
東京市魚市場建物配置圖

(壹千貳百分ノ壹)

(凡例)

- い棟—み棟 魚商店舗
- A₇—A₁₀ 買荷保管所
- B₁, B₂ 第一 食堂
第二
- C 附屬商店舗
- D 米販賣所
- E 作業所
- F 郵便局其他
- G 組合事務所
- H 銀行其他
- J 市事務所
- K 小揚休憩所
- L 倉庫
- M 章魚煮場
- N 無料買荷保管所
- O 塩販賣所
- P 守衛見張所
- Q 請願巡查派出所
- R 塵 棧 橋
- S 便 所
- T たばこ販賣所
- U 自動車々庫
- ① 消 火 栓





- 一、自動車庫 一棟 四・五〇〇
- 一、東京市冷蔵庫 一部二階建 二六二・〇〇〇
- 及製氷所 一棟(延)
- 一、同浴室ボガア室 三ヶ所 七・一六〇
- 人夫詰所 九ヶ所 三・九九九
- 一、煙草販賣所 日除 一、七七九・六一五
- 一、葎 張
- 外ニ銷煮場、魚腸骨搬出所、塵芥搬出用棧橋、公衆電話各一ヶ所アリ

五、附屬冷蔵庫

本市冷蔵庫は大正十三年五月上旬起工、同年七月下旬竣工し八月五日冷蔵及製氷事業を開始せり。煉瓦腰壁の木造一部二階建にして、延坪二六二坪、此内譯冷蔵庫八〇坪、機械室三〇坪製氷室三二坪、貯氷室二〇坪、其他六七坪、階上は凝縮室一九坪其他一四坪にして、冷蔵庫及貯氷庫の各壁並床は全部防熱装置を施す。冷蔵用二〇噸機、製氷用一〇噸機は何れも米國ビルター會社の製品にして、アムモニア直接膨脹式を採用す。本冷蔵庫を十二室に區劃し、其の容積三八、〇〇〇立方呎、冷却用鐵管は全長八、九〇〇米に達す。本庫及豫備室は華氏二四度を標準として、收容噸數は最大限度一八〇噸なり。製氷量は一晝夜一〇噸にして貯氷庫の收容噸數は一二〇噸なり。尙凝縮機冷却用水

は井水を以て之に充て、一時間の所要水量約一七〇石にして三個の堀井戸を備ふ。されど昭和六年十一月二十五日限り本市中央卸賣市場建築の進捗に伴ひ、工事の都合上一時營業を休止するに至れり。

六、管 理

本市場は中央卸賣市場開設の前提にして、震災直後應急的に設置されたるものにして、當初商工課の主管に屬し、魚市場事務所を置いて専ら事務を執掌せしが、大正十三年七月庶務規程改正に伴ひ東京市魚市場として獨立し、庶務・管理・調査・冷蔵庫の四掛を置き魚市場に關する一切の事務を處理し、次で大正十五年十一月職制改革の結果再び商工課の所管に復したれども、昭和六年七月中央卸賣市場の獨立と共に其の所管下となれり。されど本市は、市場に於て自ら營業するものにあらず、東京魚市場組合員をして營業を爲さしめ、本市は之が管理統制に任ず。而して東京魚市場組合員は組合規約を作製し、本市を經由し警視廳の認可を受け、本市場建築の店舗を賃借し、以て魚介類の取引に従事し居るものなり。

七、東京魚市場組合

本組合は嘗て日本橋魚市場組合と稱したりしが昭和三年四月四日規約の一部改正と同時に名稱をも東京魚市場組合と改稱、役員は組合長一名、副組合長一名、理事五名、監事二名、他に代議機關として三十七名の代議員を選出し、總組合員は一千二百九十四名なり。同年七月十四日新に警視廳令第二十九號食品市場取締規則の發布に依り、同九月末日組合員全部の營業許可を得て今日に及べり。

(一) 主要機關

- イ、問屋 問屋とは荷主より魚荷の委託を受け之を仲買に賣渡す業を爲すものを言ひ、斯業を営むものは組合に手数料五十圓、身元保證金五百圓を納入し鑑札の交付を受けるを要す。問屋の專業者は十八名にて、規定されたる委託販賣の手数料は、賣上高の七分乃至一割以内とす。
- ロ、問屋兼仲買 問屋兼仲買とは、同一人にして問屋及仲買人の兩者の手数料並に身元保證金を各々組合に納入し以て問屋・仲買二つの鑑札を受けたるものを言ひ、一方問屋として荷受を爲すと共に又仲買人として一般買出人に

するものは、東京魚市場運送組合なるものを組織し、各驛當市場間の魚荷の運送及場内魚荷の荷捌に從事す。組合員は十五人なり。其他地方出荷業者十四人、發送運送業者二十人ありて、地方行魚荷の荷造り及移出を掌る業務に從事す。

- ハ、買荷保管所營業者 買荷保管所は俗に潮待茶屋・棒手茶屋又は單に茶屋と稱し、一定の料金を徴し以て買出人の貨物自動車、自轉車、荷車等を預ると共に、其の買受けたる魚介が輕子に依りて配達されたるものを取纏め之を保管し、彼等の買出中の安全便宜なる荷預所たるものなり。業者一九八人、其の保管料金は時に高低あれども、一日一輛に付、貨物自動車一圓、自轉車二十錢、リアカー二十五錢、荷車は三十錢内外なり。尙この外に無料買荷保管所の施設あり。

- ニ、附屬商 附屬商と稱するは、場内にて主に魚商の需要品たる妻物、荒物及飲食物等を販賣するものを言ひ、其の種別は妻物を始め青物、漬物、果物、乾物、鳥肉、荒物靴屋、金物屋及天ふら、壽し、西洋料理、そば、牛乳、パン、しるこ屋等にして、營業者一九九人、之亦附屬商

販賣を爲し得るものを言ふ。其の數七五三名ありて本市場の取引に關する樞軸を爲すものなり。

- ハ、仲買 仲買も問屋に次ぐ主要なる販賣機關なり、專業者五二三名、其の業務は魚荷を問屋より受け之を一般買出人に販賣するものにして、業者は組合規約に依り直接荷主より魚荷の委託販賣を引受くる事を許されず。加入手数料二十圓身元保證金百圓を要す。

(二) 補助機關

- イ、小揚及輕子 小揚(かしあげ)とは魚荷の陸揚及荷捌を爲し店舗迄運搬するものを言ひ、輕子とは問屋兼仲買又は仲買に隸屬し、問屋兼仲買・仲買が買出人に賣渡したる魚介を指定の場所に配達するものを言ふ。二者共各別に組合を組織し、東京魚市場組合より鑑札を受け、同組合に附屬し、市の認可を受け、營業に從事するものなり。小揚組合に屬するもの二九三人補助員約三〇〇名内外にして、輕子組合(親興組合と稱す)に屬するもの六二〇人、外に同補助員二百六十餘人あり。
- ロ、附屬運送業者 到着運送業者にして市場内に事務所を有

組合及飲食業組合を組織し、其他煙草、鹽、氷、包装材料、自轉車自動車附屬品販賣並に修理、度量衡器販賣等合計九名の營業者あり。

- ホ、郵便局 場内に京橋郵便局の分室を設け電信、郵便其他一般の通信事務を取扱ふ。
- ヘ、銀行 三菱銀行出張所を設け、場内營業者の取引に便す。

八、市場開市時間

取引時間は毎日末明より正午迄なるも、魚荷の多き時は午後一、二時に及ぶことあり。一月一日及毎月二十二日を市場の定休日となし、當初より之を實行す。

九、販賣方法

問屋對仲買間の取引は相對にして、仲買對買出人の取引も亦相對賣買なり。問屋は特約以外は賣立後直ちに荷主に送金し、仲買人は現金取引或は毎月計算に依り買出人に販賣するを例とす

十、買出人

買出人は、市内及近郊にある魚商、料理店、飲食店、鮎屋、

そばや、天ぷら屋、辨當屋、什出屋、棒手等にして、之等日々
の入場数は二萬乃至二萬五千内外にて遠くは八王寺、横濱、千
葉、浦和、前橋、高崎、水戸等より貨物自動車、オートバイ等
を利用し來る者少からず。

十一、衛生其他

イ、汚物處分 鮮魚及鹽乾魚等の荷役を爲す爲に生ずる包装
用繩、蓆、菰、藁、箱、屑、塵芥、其他魚腸骨、貝殻、
尿尿等の汚物は衛生上急緒にす可からざるところより日
々之を場外に搬出處分す。

ロ、場内洗滌 既に構造設備の項に於て述べたるが如く、洗
滌用水道栓に護謨ホースを取付け、毎日午後汚物掃除後
之を以て場内一般を洗滌し、清潔の保持に意を用ふ。

ハ、防蠅及消毒 場内路面其他を洗滌する傍、毎日店舗際下
水及之より注がれたるところのマンホールを浚渫し、汚
泥は場外に搬出處分し、更に河岸、棧橋、便所其他蠅蛆
發生の虞ある場所には、如露及唧筒式噴霧機を以てクレ
シン或はデシンを撒布す。其の量夏期にありては一日四
十疋入を三罐乃至四罐を約三十倍に稀釋したるものを用

ふ。
ニ、大掃除 食品市場のことなれば特に衛生に重きを置き毎
年五月より十月に至る六ヶ月間は毎月一回東京魚市場組
合員と協力し、營業者總動員の土店舗内外の大掃除を施
行す。特に飲食店營業者に對しては毎月一回之を施行せ
しむ。

ホ、防火施設 場内路面の洗滌用水栓を出火時の消火用に兼
用するこゝは前述の通りなるも、外に場内適當の場所に
設けたる三ヶ所の消火栓に常時用意しあるホースを取付
け直ちに消火に當り得るの準備あり。平常ホースは捲車
に捲き格納庫に納め、非常時之を搬出し水栓に取付け放
水するまでの所要時間約二分位なり。尙夜間の火氣取締
に付ては、宿直員及守衛をして盜難豫防と共に徹夜にて
之が警戒任務に當らしむ。

ヘ、交通取締 場内は一萬二千九百餘坪の廣域を占有すと雖
も、日々二萬餘の人員を吞吐するものなれば盛り時の混
雑は意想外なり。而して時を争ふ品物の取引なれば各人
の精神異狀に緊張し寧ろ殺氣立つと言ふも可なるべく、
爲に行き交ふ時等些細の事より往々喧嘩に涉ること稀な

らず、又自動車自轉車の輻輳する爲交通事故起り易く、
之が安全を期する爲、請願巡查、管理係、守衛等其の取
締任す。

十二、市況日報其他

魚介類の數量、價格、商況等を調査し、東京市魚市場日報と
題し毎日五百五十枚印刷し、荷主、問屋、仲買、買出人、消費
者、公設市場並に官衙、學校等の希望に應じ無料にて配付し、
尙日報を取纏めたる月報四百及年報等を印刷し、希望者に參考
として贈與す。

第二章 取引

一、商況一般

昭和六年に於ける取引狀況を顧るに、昨年一月十一日の金解
禁斷行、又三月末帝都復興完成に伴ふ失業者の輩出、加之政府
の緊縮政策に基く豫算の編成、消費節約の宣傳、更に本年六月
一日よりの官更減俸の影響もあり、且つ昨年來の世界的不況は
益々深刻を加へ、直接間接に市民は勿論全國民の購買力を著る

しく減退せしめ、十二月中旬内閣交迭に伴ひ金輪再禁止の斷行
ありしも、尙深刻化せる不況はこれを以て打開せらるゝことな
く、本市場の取引上にも蒙る打撃は依然甚大にして、終始人氣
引立たず、軟弱氣配は昨年倍加し、商勢更に振はざりき。
例へば花見季節の四月、祭月と稱せらるゝ十一月等例年市場
活氣を呈する月に於てさへも、常に豫期に反する取引商狀に終
始し、氣配更に引立たずして終れり。

次に特定魚類數種に就き本年に於ける商狀を左に摘録すれ
ば
一、マグロ は四季を通じて間斷なく市場に上場賣買せらるゝ
ものにして、漁場並に漁獲數量は季節に依りて異り、北に多く、
南に多く、近海に多く、或は北陸沿岸に多く、全國に亘りて漁
獲せらるゝも、各地共盛漁薄漁の時期一様ならず、従つて鮮度
の良否、入荷數量の多寡に依りて市況を左右せらるゝ事多し。
各月を追ふて詳述すれば、一月上旬は近海、三陸、日向各地
産入荷せしも左して多量ならず、相當高値を持続せしが、下旬
に至り三陸産の入荷杜絶せしも、日向産の出廻り旬を追ふて増
加し、遂に過剩に陥り、且津隔輸送のため品質不良にして早く
も二十圓臺を割るに至り、近海産も亦これに伴ひ安値商狀とな

れり。二月上旬は依然日向産殺倒せるため、寒中に拘らず次品は十圓臺を割り低値五圓を示し、本市場開設以來の最低記録を現出するに至れり。中旬以降入荷幾分減少し稍々高値となりしも、尙十圓臺を持續し、二十圓臺に達すること能はざりき。三月に入りて上、中旬は近海、日向産共品薄となり漸次高値に回復せしも、下旬に至り再び両者共入荷幅狭せる上、暖氣も加り上旬の半値以下の大暴落を呈せり。四月は出廻り最盛期の事として、近海、日向産の他、土佐産も入荷し、中旬以降は常磐方面よりも入荷を初めしたため、品質回復せしに拘らず、尙弱氣配を脱するに至らざりき。五月は日向産の入荷なく、近海、常磐、土佐各地産を主とし、下旬は敦賀、福井、富山等を中心とする北陸方面よりも入荷を初めしが、各地産共出廻薄のため意外なる高値を唱へ、何れも六割乃至二割方の昂騰を示すに至れり。六月に入りては近海、常磐、土佐方面よりの他、三陸方面よりも入荷し、又北陸産の出廻りも増加し、加之各地産共脂肪焼けし肉質軟弱にして弾力なく、マグロ特有の色澤香味を失ひたる次品大部分を占めしたため、商狀一變し、五割乃至七割方の大暴落を告げ、下旬に至りては遂に何れも十圓臺を割るに至れり。其後漁場次第に北上し、七月上旬は近海、三陸、北陸産を主と

し、前月同様の安値商狀を持續せるも、中旬以降室蘭、浦河を中心とする噴火灣産、釧路産、並に擇捉島産も入荷を始めしが尙各地産共出廻り僅少なるため三、四割方の昂騰を示せり。然るに下旬に入りて北海各地産入荷幅狭し再び三割内外の下落を示し、次品の如きは時に三、四圓方の廉價商狀を唱へ、昨年七月同様の低値記録を現出せり。八月に入りて近海産の出廻りは終熄せしも、釜石を中心とする三陸産並に釧路、擇捉島等の北海産を主とし、引續き多く且つ暑氣のため需要減退し、又肉質も良好ならざりしたため、相場は依然安値を辿りしが、月半頃より漸次肉質回復するに及び、入荷多きに拘らず漸騰するに至れり。九月は先月同様釜石、釧路、擇捉島方面よりの入荷多かりしも、涼氣加はると共に人氣回復し、更に品質も良好となりしたため漸騰し、前月に比し約五割方の高値を示すに至れり。十月に入りても依然三陸産、釧路、擇捉島等の北海産のみにして、入荷も左して少量ならざりしも、肉質次第に良好を加へ、需要も増進せるため、一、二割方の昂騰商狀なりき。十一月に至り、エトロフ島産の出廻り杜絶したるも、尙上、中旬は各地産共出廻り幅狭し、肉質良好なるに拘らず、漸次安値商狀に轉じたるも、下旬に入りて釧路産の入荷減少し、又三陸産も薄漁となり

したため再び漸騰し、前月と大差なき商狀となれり。然るに師走に入りて、上旬は三陸産を主とし、釧路産幾分入荷あり、多量ならざりしたため上昇氣配を示し、中、下旬に至りては釧路産の入荷なく三陸産のみとなり、加之甚だ薄漁にして漸次減少の一途を辿りしたため、需要を到底滿すべくもあらず、次第に強氣配となり、月末の歳末最需要期に至りては全く品地底し、遂に前月の二倍以上の高値に達するに至れり。

一、タヒ 鯛は魚類中最高位に位するものにして、祝儀用は勿論上等料理に遍く使用せられ、需要四季を通じて絶ゆることなし。

一月は時節柄タヒ類は品薄にして、昨年末の暴騰よりも更に昂騰し、例年になき高値を示し、近海産タヒ、常磐、關西産タヒ等何れも五割方の高値商狀なりしが、ハナタヒ、チコタヒ、レンコタヒ等は眞鯛に比しては左して高値ならず、僅かに一般の購買力を滿すに過ぎざりき。二月に入りて、上旬は入荷増加し安値となりしも、中旬は品薄にて稍々高値商狀、下旬に至りて再び出廻り多く低落商狀を示せり。三月は中旬以降常磐産の出廻りなく、近海産も減少し高値商狀を呈し、従つて關西産レンコタヒ等も幾分上昇氣配を示せるも、關西産タヒは品質不良

にして、却つて三割方の暴落商狀なりき。四月に入りては、タヒ類の入荷漸次増加し旬を追ふて安値歩調を辿り、近海産タヒ類、三陸、關西産タヒ等何れも四割方の低落なりしが、關西産レンコタヒは出廻り消長し一進一退の商狀を示せり。五月は例年の如く産卵期を控え、盛漁期を迎へしたため、上總、銚子、常磐、内海を始め、越後方面よりも大、中、小タヒの入荷幅狭せるため次第に安値に轉じ一割内外の續落商狀、關西産レンコタヒも一割内外の安値、又これに伴ひハナタヒ、チコタヒ等も一様に軟弱氣配を辿れり。六月に入りては、各地産共旬を追ふて品薄となりしも、産卵直後のため肉質良好ならず、前月に比し更に三割方の急落を示し、關西産レンコタヒも終了期に近づき品薄ながらも人氣揚らず二、三割方の下落なりき。七月上旬は依然として安値商狀なりしが、中旬以降品薄となり上昇し、尙五月同様の相場に回復するに至らずと雖も、前月に比し五割内外の急騰を示し、關西産レンコタヒ、カスコタヒ、ハナタヒ等も漸次高値商狀となれり。八月に入りては、暑氣厳しきため、入荷比較的僅少にして且關西産レンコタヒは全然其の姿を没せしに拘らず、高値商狀となるに至らざりき。九月に入り冷氣幾分加はり、需要も増加し、尙漸次出廻り減少するに従ひ漸騰し

前月に比し三割乃至六割方の暴騰を示し、ハナタヒ、チコタヒカスコタヒ等も高値商状、關西産レンコタヒは中旬以降入荷を初めしが、タヒ類の高値に伴ひ比較的高値に取引せられたり。十月上旬、中旬は尙引續き品源のため各地産共昂騰し、下旬は入荷幾分増加し稍々下伸氣配に轉ぜるも、尙月平均に於ては前月に比し一割内外の上昇、ハナタヒ、カスコタヒ等も同様の商状なりしが、關西産レンコタヒはタヒ類の高値に煽られ、需要増加し、小堅き商状を示せり。十一月は婚禮季節なる上、七五三祝、明治節、酉の市等祝祭日あり、例年最高記録を現出するに拘らず、本年は不景氣の世相の反映か、近海産上タヒは入荷少きも賣行悪しく、豫期に反し安値商状を呈したるも、比較的安値なる常磐、關西産タヒ、レンコタヒ等は人氣良好にして賣行も良く、何れも上昇商状なりき。師走に入りて、上旬は常磐、銚子方面よりの入荷相當多く、前月に比し五分乃至二割方の安値なりしも、中、下旬と次第に入荷減少し、殊に歳末に至りては殆んど入荷なきため、昂騰に昂騰を重ね、本年最高の記録を現出するに至れり。

一、サバ 惣菜物中、春夏秋冬を通じ、最も豊富に供給せられ、市民の食膳を賑はしつゝあるものゝ一として、先づ指を屈

せらるゝものはサバを第一とす。

一月より五月迄は天津、千倉、平館、布良等の外房筋、並に勝浦方面を主とし、伊豆、三崎沿岸、及び沼津、大磯等の東海道沿岸の外、時々大島方面よりの品を交へ、五月中旬より九州方面よりの入荷あり、六月に入りて常磐、三陸産も入荷あり、而して相場は一月、二月は漸騰氣配を示せるも、三月に入りて入荷増加し幾分下伸氣配となり、四月は品薄にて昨年同様可成りの高値商状を呈せり。五、六月は産卵期なる上入荷幅狭し漸落商状を辿り、近海産ゴマサバ、九州産サバ等の如きは平均相場二、三割内外の安値取引となれり。七、八月は九州方面より入荷なく、三陸産の出廻りも少く、主として近海産にして、品薄のため、酷暑の候に拘らず次第に高値となるに至れり。九月に入りて、下關經由の朝鮮産サバの入荷ありしも、氣候良きため旬を追ふて昂騰を示し、十一月に至り、朝鮮産サバ次第に入荷幅狭せるため、安値商状に轉じ、十二月中旬以降、近海、朝鮮産の外、青森方面よりも入荷し、次漸下伸市況を呈するに至れり。

一、焼竹輪 は相場低廉且つ調理の簡便なる點より、一般消費者の嗜好に投じ、重寶なる惣菜物として遍く歓迎せらる。

焼竹輪の出荷地は、鹽釜を第一とし、函館、青森、常磐、釜石、石ノ巻、氣仙沼等にして、稀に北海道産釧路、室蘭等より多少入荷を見る事あり。出荷期は一月より六月に至る上半期と九月より十二月に至る下半期の二期にして、盛夏の七、八月の兩月は出荷殆んど稀なり。需要の最盛期は歳末たる十二月にして、一月より三月に至る三ヶ月と、十一の二ヶ月の寒冷の季節に於ては、略々相似たる賣行を示し、四、五月は漸次賣行遞減し、六月並に九月は暑熱も相當強き季節にて、保存も困難なる關係もあり、入荷薄なるも、需要は減退し、賣行溢り勝なりき。

一 月

年更ると共に、上旬は松の内の事とて比較的閑散なりしも、中旬以降客足漸次増加し、これに反し入荷は減少せるを以つて取引も次第に圓滑となり、賣行も稍々好轉するに至れり。

刺身物 〓 マダロ、カジキ、キハダ等は、上、中旬は品拂底のため、意外なる高値を持續せしも、下旬に至り、日向産マダロの入荷殺倒し、加之臺灣産カジキ、キハダの出廻り多く、且つメヂ、ピンナガ等の各濱よりの入荷豊富なるため、商状一變し、

相場は互に牽制され、安値市況を辿るに至れり。

上物 〓 タヒ類は、近海産の出廻り引續き僅少にして、大小タヒ何れも高値商状を持續し、常磐、關西産タヒも氣配高、其他カスコタヒ、ハナタヒ、チコタヒ等も、これに伴ひ比較的高値取引なりき。

ヒラメは、各地産共、上、中旬は品薄なるため高値商状なりしも、下旬に至り、入荷増加し、一齊に安値商状に轉ずるに至れり。

惣菜物 〓 上旬は、松の内の事とて人氣引立たず、相場も下伸氣配にして、賣行も不良なりしが、中旬以降人氣回復すると共に、コハダ、イワシの入荷多量にて安値なりし外は、漸次高値となれり。然れ共、昨年同期に比すれば軟弱氣配にして、一割乃至三割方の下落を示し、各地産ブリ、イカ、タコ、メヌキ、關西ホウボウ、北海運カレヒ類等、何れも比較的高値取引なりき。

鹽干魚其他 〓 新巻鮭、スルメ類、鹽タラ、數ノ子等は、年末需要の直後とて、商内閑散にして、下旬に至り、幾分上昇せるも、尙昨年同期に比すれば一、二割方の下伸商状なりき。

冷凍魚 〓 一般魚介の出廻りに伴ひ、七百七十三噸の多量上場

せられ、昨年同期に比し約倍量に達せり。主なるものは、カヂキ、メヂ、ブリ、サケ、マス、サバ、イカ、ニシン並に米國産エビ等にして、就中イカ、サバ、ブリ等は、生物品薄なるため人氣高商狀、其他サケ、マス等も比較的高値に取引せられしも何れも昨年同期に比すれば、一割乃至三割方の下落なりき。

二月

本月は、上、中旬に於ては、入荷増加し、これに反し入場者減少し、加之天候不良のため、市況閑散なりしも、下旬に入りて入場者漸増し、稍々活氣を呈するに至れり。

刺身物 マグロは上旬日向産の出廻り多く、ために近海産も安値商狀となり、日向産の如きは早くも十圓臺を割り、最低五圓となり、本市場開設以來の安値記録を現出せり。然るに中、下旬と次第に入荷減少し、高値となりしも、尙二十圓臺に達する事を得ずして終れり。従つてカヂキ、メヂ、ビンナガを始め臺灣産キハダ、カヂキ等もマグロに押され、何れも下押氣配を示せり。

上物 近海産タヒは、上旬は出廻り多く安値、中旬に至り品薄にて昂騰し、下旬再び入荷増加し漸落せしも、尙前月と大

差なく、高値を持続し、常磐、關西産タヒも同様の商狀を辿りしも、關西産チコタヒ、レンコタヒは入荷多き上人氣薄にて、二割方の下落を示せり。

エビ類は、各地産共漸次品薄となるに及び、次第に高値商狀となり、前月に比し約一割五分方の上昇なりき。

惣菜物 ヒラメは旬を追ふて出廻り激減せるため漸騰し、コハダ、北海産カレヒ類も亦品薄にて高値取引なりしが、季節物のブリは伊豆方面より相當出廻り多かりしため、前月に比し約半値となり、其他ムツ、サバ、キンメ、メヌキ、ボラ、イナ等も、入荷多きため安値商狀となれり。イワシは灣内産の外、常磐方面よりの出廻り多く、前月に比し一尾一厘方の下落、イカは近海産スルメイカ、ヤリイカの外、越中産ヤリイカも入荷せしが、何れも品薄なるため前月と大差なき商狀、朝鮮産ニシンは上旬より出廻り初めしが、比較的人氣あり、殊に中旬は惣菜物品薄の際とて、相當高値に取引せられたり。

鹽干魚其他 新巻サケは各地産共次第に品薄となりしも、人氣引立たず保合商狀、其他各地産スルメ、無頭タラ等も保合氣配なりしが、タラ子、數ノ子、チクワ等は、需要盛期を過ぎしため、人氣揚らず、下押商狀を呈せり。

冷凍魚 本月も上場せられし數量六百卅四噸の多量に達し、ビンナガ、ブリ、サケ、マス、イカ、ニシン、米國産エビ等なりしが、ブリ、マスを除きては概して人氣なく、何れも安値商狀に轉じ、殊にビンナガは刺身物豊富なるため、賣行拂々しからざりき。

三月

本月の入荷は前月と大差なかりしも、入場者は一日平均一千百餘人の増加を示せるを以て、相當良好なる賣行を豫想せられしも、財界不況の影響甚大にして、賣行振はず、市況閑散にして、豫期に反する事大なるものありき。

刺身物 マグロは東海道筋、伊豆、三崎等の近海産の出廻り増加し、加之日向産の入荷幅輾し、上旬は稍々高價なりしも、中旬以降暖氣加はりしたため人氣引立たず、下旬に至りては上旬の半値以下の急落を示し、カヂキもマグロと同一の歩調を辿り、其他メヂ、ビンナガ、臺灣産キハダ等も、何れも漸落商狀を呈したるも、尙月平均に於ては、前月の大暴落に比し幾分高價を示せり。

上物 近海産大中タヒは前月末より引續き入荷僅少のた

め、旬に依りて幾分の高低はありしも、前月と大差なく、依然として高値商狀なりしが、カスコタヒ、ハナタヒ、常磐産タヒ、關西産レンコタヒ等は、入荷の増加に伴ひ漸落商狀、關西産タヒは前月に比し品質の低下著るしきため、約二十圓方の暴落を呈せり。

エビ類は、各地産共前月に比し更に品薄となりしため、約七分方の昂騰商狀なりき。

惣菜物 近海産イカ、アヂは出廻り薄のため幾分高値商狀、ヒラメも品薄にて保合氣配なりしが、ブリは伊豆、房總方面の外、關西方面よりの入荷も多く、前月に比し二割方の低落、ムツも時節柄出廻り激増し漸落氣配、其他サバ、キンメ、アコウタヒ、北海産カレヒ類等も安値取引なりき。

又カツは伊豆、房總方面より出廻り初めしが、人氣引立たず、賣行も良好ならざりき。

鹽干魚其他 新巻サケは、冷蔵新巻を除きては中旬以降姿を没し、米國、露國産サケを主としたるも、暖氣加はりしに、惣菜物に押され氣味にて氣乗薄商狀、スルメは大して變動なかりしも、チクワ、數ノ子、メザシ、無頭タラ等は漸落商狀を辿れり。

冷凍魚 本月上場せられし主なるものはサケ、マス、イカ、ニシン、サンマ、米國産エビ等にして、其の量四百二十五噸にして、前月の約三分の二に過ぎざりしも、惣菜物豊富なるため人氣引立たず、サケ、イカを除きては、賣行良好ならざりき。

四月

陽春四月に入ると共に、灣内、近海産の出廻り減少せしも、隅田川、汐留驛着のもの、即ち三陸、北海道、關西方面よりの入荷激増し、一日平均八噸の増加を示せるも、客足も亦相當頻繁にして、前月に比し二千人餘の激増を示したるを以て、花見季節に適はしき良好なる賣行を豫想せられしも、市民一般の消費節約の氣風濃厚にして、賣行も不振を呈し、豫期に反するものと大なるものありき。

刺身物 マグロは出廻り最盛期の事にて、近海産の他、日向土佐方面よりも入荷し、相當多量に上りしも、前月末より上昇し、中旬以降常磐方面よりも出廻りしが、各地産共入荷幾分減少し、日向産も二十圓臺に復活し漸騰氣配、カヂキも近海、臺灣産共入荷杜絶え勝ちとなり、上昇氣配を示せるも、メヂは房州、伊豆、沼津方面より多量入荷し、加之紀州産も出廻りした

め、人氣薄にて下押歩調を辿れり。

上物 近海産大中小タヒは入荷漸増し、各旬毎に安値に轉じ、月平均四割の暴落、ハナタヒ、カスコタヒ等も軟弱市況なりしが、關西産レンコタヒは出廻り一定せず、一進一退の商狀なりき。

エビ類は依然各地産共品薄にて、前月に比し更に二割内外の上昇を示せり。

活魚類は出廻り漸次増加せるも比較的人氣良好にして、クロタヒ、ヒラメ、カレヒ類、アワビ等何れも小堅き取引なりき。

惣菜物 プリは伊豆、房州並に下關方面より入荷せしも次第に減少し、近海産ワラサ、サバ、スルメイカ、ヤリイカ等も入荷漸なりしたため上昇氣配なりしが、ムツ、ヒラメ等は出廻り多し、品質良好なるため幾分高値商狀となれり。ニシンは朝鮮産の入荷なく、これに代り中旬以降北海道産出廻り初めしが、一尾一錢二厘内外の取引にて前年に比し約五割方の安値、イワシは灣内並に常磐方面より出廻りしが入荷減少せるため幾分高値氣配となれり。

鹽干魚其他 鹽サケは次第に品薄となりしも、鹽強きたため反

撥氣配を呈するの餘地なく氣乘薄商狀、ナマリは中旬以降出廻り初め賣行圓滑なりしも入荷次第に増加し軟弱氣配に傾きしが

松前産スルメ、無頭開タラ、房州産末廣イワシ、粕漬メヌキ、タラ等需要季節なりしたため小堅き取引商狀なりき。

冷凍魚 主としてサケ、イカ、サンマ、芝エビ、米國産エビ等にして、其の量三百三十噸、前月の約三分の二の量に過ぎず、イカ、サケ、エビ類等何れも生物拂底の際とて、比較的高價に取引せられたり。

五月

五月に入りて、入荷一日平均二十三噸の減少を示せるも、入場者も亦一日平均四百八十餘人の減少を示し、加之暖氣加はりしたため需要不振を來し、各鮮魚共概して軟弱氣配を辿り、商狀不活潑なりき。

刺身物 マグロは本月に入り漁場廣汎に亘り、近海、常磐産の他、土佐、北陸方面よりも入荷せしが、出廻薄にて漸騰し、意外なる高値を呈し、前月に比し商狀變轉、二割乃至六割方の昂騰、カヂキも近海、臺灣産共品薄にて一割内外の上昇、メヂメバチ、キハダ等もマグロと同一歩調を辿りしも、ビンナガは

旬を追ふて入荷増加し安値商狀に轉じたり。

上物 タヒは産卵期を迎へ、近海を始め常磐、越後方面よりも出廻り豊富にして、中旬幾分減少し高値商狀を呈したるも月平均に於ては一割内外の下落を示し、従つて近海産ハナタヒ、カスコタヒ、三州産タヒ、關西産タヒ、チコタヒ、レンコタヒ等も總て軟弱氣配を呈すに至れり。

エビ類は、上旬は依然高値を持続せるも、中旬以降入荷増加に伴ひ漸落商狀、アユは中旬より九州産出廻り初めしも、不況のため人氣揚らず、昨年同期と大差なき商狀なりき。

惣菜物 カツチは引續き近海産の出廻り多く、加之紀州方面よりも多量入荷せしを以て下押商狀、プリ、ワラサ、メダヒ、ヒラメ、ホウボウ、イカ等も安値氣配なりしが、サバは近海産の他、關西方面よりも出廻りしも尙品薄のため比較的高値商狀、又季節物としてカマス出廻り初めしが、人氣良好にして相當高値取引なりき。中旬以降北海道方面より生サケ、生マス入荷せしが、珍らしき事とて意外に高値商狀を呈したり。

鹽干魚其他 鹽サケは、昨年末よりの持越しのものは人氣更に引立たず賣行不振なりしが、上旬より入荷せし新サケは、人氣に投じ順調なる賣行を示し比較的高値取引、無頭タラ、粕漬

メスキ、タラ等も高値商状なりしが、ナマリは焼津、清水より他、三崎、房州方面よりも入荷し、出廻り豊富なるため安値に轉じ、前月に比し約三割方の低落を示せり。

冷凍魚 次第に暖氣加はりしたため人氣振はず、僅かに六十六噸上場せられしのみ。主としてサケ、米國産エビ等なりしが、何れも前月と大差なき商状なりき。

六月

六月に入りて、入荷數量は一日平均七十二噸の増加を示し、入場者も亦一日平均五百五十餘人の増加を示せるも、梅雨期に拘らず降雨少く暑氣強く、加之官吏減俸斷行の影響もあり、上旬早々より人氣揚らず、相場は概して下押氣配ながらも賣行拂々しからず、依然活氣ある商内を見る事はざりき。

刺身物 マダロは引續き近海、常磐、土佐方面よりの入荷の他、三陸、北陸産の入荷増加し、出廻り多量なる上、各地産共脂肪焼けのもの多きため、次第に安値に轉じ、殊に近海産は小マダロにて人氣振はず、月平均に於ては五割乃至七割方の大暴落を告ぐるに至れり。従つてカヂキもマダロに押され氣味にて五割以上の急落、メジも水戸方面よりの出廻り多く六割方の低

落、ピンナガも亦近海産の他、紀州産の入荷幅狭し、刺身物過剩となり安値氣配を呈せり。キハダは沼津、三崎等の近海産の他、紀州方面よりも出廻りしが、季節向の物とて、人氣良好にして比較的高値商状なりき。

上物 近海産大中小タヒは、旬を追ふて入荷薄きなり、漸騰氣配を示せるも、産卵直後にて肉質良好ならず、前月に比し三割方の安値商状、從て近海産ハナタヒ、カスコヒ、常磐産タヒ、關西産タヒ、チコタヒ、レンコタヒ、等何れも軟弱氣配を示せり。

アユは一日解禁以來、栃木、静岡、兵庫、三重、島根、宮崎愛知縣等を筆頭とし、一齊に入荷せしも、不況のため買人氣鈍く賣行不振、活魚類は比較的人氣良好にして小締商状なりき。惣菜物 カツヲ、ブリ、ワラサ、サケ、マス等は何れも入荷増加し五割内外の急落、其他イサキ、サバ、イカ等も安價商状なりしが、スギキは季節向の品にて人氣良く強保合なりき。

季節物としては、上旬より八丈、三宅島方面の近海産の他、下關方面よりもトビウチ入荷し、賣行良好なりしも、出廻り漸増に伴ひ下押氣配となれり。

鹽干魚其他 新サケは、根室の他、室蘭、釧路、浦河方面よ

りも出廻り、上旬は未だ品薄にて高値なりしも、中旬以降入荷増加し漸落商状を辿るに至れり。カツヲナマリ、ピンナガナマリは焼津、三崎、伊豆産の他、三陸方面よりの出廻り増加に伴ひ漸落し、平均五割内外の急落を示し、其他無頭タラ、末廣イワシ、チクワ等何れも人氣不振にして軟弱氣配なりき。

凍冷魚 惣菜物の不振に依り、殆んど上場せられず、僅かに米國産エビ二噸のみなりき。

七月

本月の入荷は、前月に比し一日平均百十六噸の激減を示せるを以て、相場は概して高値氣配なりしも、入場者も亦一日平均約千人の激減を示せる上、天候不順にして人氣芳しからず、加之諸學校暑中休暇に入り、學生、生徒の歸國する者等、帝都を離る、もの相繼ぎ、例年の如く需要大に減退し、取引一般に活氣なく、商状不振を極めたり。

刺身物 マダロは上旬に於ては近海、三陸産並に敦賀、氷見、小濱等の日本海産を主とし、前月同様の安値商状なりしが、中旬に入り室蘭、浦河を中心とする噴火灣産及釧路、樺提島産も出廻り初めしが、各地産共入荷少く昂騰氣配を示したるも、下旬

に至り近海産の入荷杜絶えしも、北海産の入荷幅狭せるため再び三割内外の低落商状に轉じ、月平均に於ては三圓内外の下落を呈し、遍く多數市民の需要を充せり。カヂキも亦マダロと同様の安値歩調を辿りしが、メヂは近海、三陸産共出廻り多きに拘らず、人氣良好にして高値に取引せられ、月平均三割乃至一割五分方の上昇、キハダは三崎、小田原、沼津、房州方面の近海産を主とし、品質良好なる上、季節向の品とて漸騰商状を示し、月平均十圓方の急騰商状なりき。

上物 タヒは上旬近海、常磐産の他、關西方面よりも出廻り安値商状なりしも、中旬に至り關西産の入荷なく、代りて三陸産出廻りしも、品薄にて急騰し、下旬幾分入荷増加せるため稍々下押氣配となれるも、尙月平均五割内外の急騰商状、關西産レンコタヒも次第に入荷薄となり上昇氣配、其他カスコタヒ、ハナタヒ等も高値商状なりき。

活魚類は比較的品薄なる上、人氣良好にして高値取引なりしも、ウナギ、ドゼウ等は丑の日ありて需要盛期に拘らず、案外氣乗薄にて漸落商状を呈せり。

惣菜物 カツヲ、ヒラメ、ブリ、ワラサ、イナダ、イサキ、スギキ、サバ、イカ、トビウチ等、何れも入荷減少し高値商状、

アヂは近海産の他、關西方面よりも大アヂの入荷ありしが、季節物の事とて比較的人氣引立ち高値取引なりしも、サケ、マスは三陸並に北海産の出廻り多く軟弱商狀なりき。

鹽干魚其他 新サケ、新マスは上旬入荷多く安値なりしも、旬を追ふて入荷減少し強氣配を辿り、冷蔵新巻サケ、擇捉島産新巻サケ等上旬より入荷を初め、品質良好なるため好人氣にして比較的高値取引なりき。ナマリも亦次第に品薄となり、漸騰氣配を呈せり。

冷凍魚 中旬僅かに九噸上場せられしのみ、賣行拂々しからざりき。

八月

盛夏の八月を迎へ、入荷數量は前月と大差なかりしが、近海産魚荷少量なりしたため、相場は概して高値氣配なりしも、入場者一日平均七百八十餘人の減少を示し、加之月初めより氣温急激に上昇し、例年の如く鮮魚介の需要夏枯れ時の現象を呈し、市況活氣を加ふるに至らざりき。

刺身物 マグロは近海産の出廻りなく、釜石を中心とする三陸産、並に釧路、擇捉島産の遠海物にして、上旬は入荷多く且

つ暑氣のため需要減退し、加之肉質も良好ならず、安値商狀なりしも、月半頃より肉質漸次回復し、下旬に至り釧路産中マグロも入荷し、其の量相當多きに拘らず、三、四圓方の上昇を示せり。カチキ、キハダも近海産の他、三陸方面よりも出廻り、上、中旬は安値なりしも、下旬に至りマグロ同様高値に回復し、メヂは近海、三陸産共、旬を追ふて入荷減少し、高値商狀なりき。

上物 タヒは、近海産大中小タヒ、ハナタヒ、常磐産タヒ共、入荷漸にて高値を持続せしも、中旬は銚子、水戸方面より出廻り幾分増加し、稍々安値商狀を示せり。

タヒ、クロタヒ、ヒラメ、カレヒ等の活魚類は、賣行不振なりしも薄漁のため上昇氣配、アユは需要盛期を経過せるため商内澁り氣味、エビ類は上旬安値なりしも、漸次入荷減少に伴ひ漸騰せしが、荷動き拂々しからざりき。

惣菜物 カツヲは近海、三陸産共、上旬は安値なりしも、中、下旬と入荷漸となり高値に轉じ月平均一、二割方の昂騰、近海産サバ、タカベ、アヂ等も高値取引なりしが、ブリ、ワラサ等は需要少く安値商狀に轉じ、トビウチは伊豆諸島より入荷せしが、人氣引立たず下押氣配なりき。北海産サケ、マス青森經由

のカムサツカ産サケ、マスは旬を追ふて高値となりしも、尙前月に比し幾分軟弱氣配、下關經由朝鮮産アヂは不振商況を唱へつ、も稍々小高き相場を示せり。

鹽干魚其他 カムサツカ産冷蔵新巻、擇捉島及樺太産新巻サケ等は、入荷幅狭し軟弱氣配ニ化し、各地産新サケ、マスもこれに伴ひ安値に轉じ、スルメも人氣薄にて漸落せしが、ナマリは焼津、清水産等漸減し約四割方の昂騰を示せり。

冷凍魚 本月は全然上場せられず。

九月

本月に入り、入荷漸次増加し、前月に比し一日平均百七十一噸の激増を示せるも、入場者も亦一日平均千五百人餘の増加を示せるを以て、近海産魚荷の激減のため相場は概して高値氣配ながらも、買人氣引立ち、加之涼氣加はり需要を喚起せるため市況活氣を加へ、順調なる取引状態を現出せり。

刺身物 マグロは、前月同様釜石、釧路、擇捉島方面よりの旅物多かりしも、涼氣加はり食慾増進し、且肉質も脂肪焼のみの少く、加之市内近郊の秋季祭禮の時季とて需要増加せるため、月平均五割方の昂騰商狀、カチキも亦マグロ同様五割方の上昇

を示し、メヂは近海産の他、三陸、北陸産共相當多量入荷せしが、マグロの高値に連れ次第に昂騰し、約四割方の高値商狀なりしも、キハダ、メバチは、需要期を過ぎしたため人氣引立たず前月と大差なき商狀を呈せり。

上物 近海産大中小タヒは、旬を追ふて入荷減少し漸騰氣配にして、月平均六割乃至三割方の暴騰、近海産アマタヒ、ハナタヒ、カスコタヒ等も總て上昇氣配、關西産レンコタヒは中旬より入荷し初めしが、タヒの高値に伴ひ比較的高値引なりき。

活魚類は、品薄のため概して上昇氣なりしも、人氣揚らず賣行不振なりしが、エビ類は品薄なる上、人氣回復し各地産共二割内外の高値取引なりき。

惣菜物 カツヲは近海、三陸産共入荷減少し漸騰商狀、其他ワラサ、サバ、イカ、アヂ等も高値取引なりしが、イワシは千葉方面より入荷幅狭し安値取引なりき。サンマは例年よりも早く、初旬早々より三陸産出廻りを開始し、初旬は珍らしきため比較的高値を示せるも、入荷の増加に伴ひ旬を追ふて漸落氣配を呈せり。

鹽干魚其他 各地産新巻サケは入荷増加せしも保合商狀、無頭タラは人氣薄にて各地産共安値氣配、ナマリは近海産の他、

三陸産も入荷せしが、比較的人氣良好にして上昇氣配を示せり。
伊豆諸島産アラムロアチ、ナガムロアチの手鹽製、クサヤ製等
は季節物とて、賣行良好なりしも、相場は前月に比し幾分下押
商状なりき。

冷凍魚—全然上場せられず。

十月

本月は出廻り盛期に近づき、近海、遠海産共入荷潤澤なりし
が、買出人の出足相當頻繁にして、且一般鮮魚介の需要期に入
りしたため、比較的人氣良好にして、順調なる荷動きを示せり。

刺身物—マグロは三陸、釧路産の他、擇捉島産引續き入荷あ
りしも、漸次肉質良好となり、需要増進せるため、前月に比し
一、二圓乃至三、四圓方の高値を示し、カチキ、メヂもマグロ
同様上昇氣配なりしが、臺灣産カチキ、キハダは、中旬より入
荷を初めしも、人氣揚らず、安値商状を呈せり。

上物—近海産大中小タヒは、下旬幾分入荷増加し安値とな
りしも、上、中旬は品薄にて高値取引、其他ハナタヒ、アマタ
ヒ等も同様の商状なりしが、關西産レンコタヒは比較的需要多
く小堅商状を加せり。

エビ類は、旬を追ふて入荷減少し、漸次を高値示せるも、活
魚類は人氣引立たず漸落商状なりき。

惣菜物—サバ、アチ、トビウチ、ブリ、ワラサ等は品薄にて
高値商状なりしも、イワシは灣内産の出廻り多く安値となれり。
三陸産サンマ、三陸、北海産イカ、北海産カレヒ類等相當多量
入荷せしが、前月と大差なき商状なりき。

鹽干魚其他—新巻サケは、根室、北見、三場所方面より入荷
し、幾分出廻り薄の上、品質も良好なりしたため、漸次氣配高とな
り、冷蔵新巻サケ、改良サケ等も小堅き商況を呈せり。

冷凍魚—二噸上場はられしのみ。

十一月

本月は一般鮮魚介の出廻り盛期とて、日を追ふて増加し、一日
平均九百十二噸の多量に達し、本市場開設以來の最高記録を現
出せり。然れ共近海産魚荷は入荷減少せるを以て、相場は大な
る低落を示さず、明治節、七五三祝、西の市等の祝日祭事あり
需要増加せるため、荷動き稍々良好なりき。

刺身物—マグロは擇捉島産の入荷杜絶えしも、上、中旬は三
陸、釧路産共入荷多く安値商状、下旬に入り釧路産出廻り薄となり

漸騰せしも、尙前月に比し幾分低落商状、カチキも臺灣産の入
荷多き上、近海、三陸方面よりの出廻り多量に達したため、二
三割方の暴落を示せり。其他メヂ、キハダ、メカチキ等も、三
崎よりピンナガ出廻り初めしたため、押され氣味にて何れも安値
商状なりき。

上物—近海産大中小タヒは、出廻り少く、加之七五三祝等
ありしに拘らず、不況の反映にて賣行振はず、豫期に反し安値
商状なりしも、これに反し常磐産タヒ、關西産タヒ、レンコタ
ヒ等は比較的安値なるため、人氣引立ち賣行も良く、何れも上
昇氣配を示せり。

各地産エビは入荷減少し、何れも前月に比し高値取引なりき。
惣菜物—近海産タチウチ、イカ等は何れも安値氣配、サバも
下旬より下關經由の朝鮮産の入荷を見るため一割内外の下落を
示し、サンマは三陸、常磐産の他、銚子、三崎方面よりも入荷
せしが、脂肪少く品質不良にして下押商状なりしが、三陸、北
海産イカは人氣良く幾分高値を示し、イワシは臺灣沖、千葉縣
寄りの灣内産の入荷幅輾せるも、品質良好なるため、反つて高
値取引となれり。

鹽干魚其他—各地産新巻サケは、寒氣加はるご共に需要も加

はり、漸騰氣配を示し、前月に比し二圓方の昂騰を示せるも、
無頭タラ、タラ子等は、入荷増加せるため軟弱商状なりき。

冷凍魚—生魚の入荷多きため、人氣不振にして、僅かに二噸
上場せられしのみ。

十二月

本月に入りても尙入荷多く、一日平均八百七十五噸の多量に
達したるも、不況とは云へ歳末氣分濃厚にして、入場者も一日
平均二萬六七千人餘の多數なりしたため、市況相當活氣を加へ、
荷動きも相當良好なりき。

刺身物—マグロは上旬三陸産の他、釧路産の出廻りありしも
多量ならず、上昇氣配を示し、中旬以降は釧路産姿を没し三陸
産のみにして、入荷も極めて僅少なりしたため漸次高値となり、
歳末の需要盛期に至りては全く品拂底し、遂に上旬に比し五割
方の昂騰商状、カチキ、メヂ、キハダ等も、マグロ同様漸騰商状
なりしも、出廻り相當多きため左して急騰を示さざりき。其他
メカチキ、ピンナガ、メバチ等もマグロと同一歩調を辿り、下
旬に至り昂騰せり。

上物—近海産大中小タヒは、上旬常磐、銚子方面より相當

多量入荷し、前月に比し五分乃至二割方の低落を示せるも、中、下旬と次第に入荷減少し、歳末を控へ漸次上昇気配を辿り一、二割方の昂騰を示せり。従て常磐、三陸産タヒ、關西産タヒ、レンコタヒ等も、これに伴ひ漸騰気配なりき。

惣菜物||ブリ、ワラサは入荷薄なる上需要多く順調なる取引商況、其他ビンナガ、ホウボウ等も比較的良好的商内なりしも、サバ、アヂ、三陸産メヌキ、イカ、北海産カレヒ類、タラ等は需要不振にして安値商状なりき。

各地産ユデタコ、北海産酢タコ等は、歳末の事とて需要増加し、漸次高値取引となれり。

鹽干魚其他||根室、三場所、擇捉島産新巻サケ、冷蔵新巻サケ、改良サケ及び數の子等の季節物は漸次上昇し荷動き圓滑、松前、南部スルメ、カマボコ等も順調なる商内を示せり。

冷凍魚||サケ、マス、カチキ、ブリ、ワラサ、イカ、米國産エビ等を主とし、二百十七噸の多量上場せられしが、何れも人氣比較的良好にして、相當高値に取引せられたり。

〇二、入荷状況

當市場に集散せらる、魚介類は、北は千島、北海道より、南

は九州に至る内地沿岸は勿論、或は朝鮮、臺灣、樺太、關東州等の植民地よりも搬入せられ、尙露領カムサツカ、沿海州、及び北米合衆國、メキシコ等の外國よりも輸入せらるゝ等、その範圍實に廣汎に亘れり。

昭和六年中の魚荷總數量は二十五萬三千六百六十餘噸にして一日最大入荷の記録は例年の如く十月二十三日の市場定休日明けにて千三百六十九噸、同上最少入荷は二月十一日の三百一噸にして、一ケ年一日平均入荷數量は七百二十噸に上り、前年に比し總數量に於て二萬二百六十九噸、一日平均に於て五十六噸の増加を示せり。

入荷は逐年増加しつつあり、是は即ち昨今の中央集荷の傾向を如實に示すものと推察せらる。

之を月別に觀察すれば、一月のみ昨年より幾分の減少を見たるも、殘餘の十一ケ月は増加を來せり。

尙此を入荷経路に依り、陸運、海運、生産地直送自動車、冷凍魚介別とすれば、鐵道輸送量は昨年度に比し四百三十五噸、冷凍魚介は千八百九十餘噸を減少し、船舶輸送量は一萬三千八百餘噸、自動車直送に依るものは約千八百噸を夫々増加し、前記の如く總量に於て約九分の増加を來せるなり

而して鐵道便に依る魚荷の減退は、昨年同様兩國、汐留兩驛扱の減少に起因し、隅田川驛扱のものは幾分の増加を示せり。兩國驛着の減少は勝浦、大原方面其他の不漁に基き、汐留驛着の減少は下關、長崎、沼津を始め、北陸地方よりの入荷減少に基くものゝ如し。

次に海運入荷の増加を検するに、入荷隻數に於て、昨年度に比し六百六十八隻増の一萬三千三百三十隻を算せり。而して殊に東京灣汽船扱のものは各地産共増加を示し、合計に於て六百二十二隻、六千八百二十九噸の増加を示せるは、即ち伊豆、房州方面よりの出荷に運賃の節約のため船舶利用の多きを語るものゝ如し。

自動車直送に依る魚荷は千葉縣銚子、並に片貝を中心とする九十九里沿岸のものを主とし、西は沼津以東、東は水戸以西の魚荷にして、その量次第に増加を示し、昨年度の九千六百四十九噸の一萬四千四百五十五噸に對し、本年は一萬五千四百九十四噸の二萬三千二百十六噸に達し、その性質上所謂少量發荷にのみ用ひらるゝを以て、利用の範圍は制限せらるゝも、尙今後國道の完成に伴ひ相當に漸増の傾向あるものゝ如し。

冷凍魚介の販賣時期は、鮮魚需要期の一月より四月に至る上

半期と、十、十一、十二月の候なるも、本年は鮮魚介の出廻り多きため上場せられし數量は僅かに二千四百三十三噸、昨年度に比し千八百九十八噸即ち四割以上の減少を示せり。然れ共魚類供給の調節並に消費經濟上、重要且つ確固たる一地步を占むるを以て、冷凍法の進歩發達に伴ひ、將來に於ては甚だ主要なる地位を確立し、大に發展の餘地あるものと認めらる。

〇三、入場人員並に入車數

買出人を主とする入場人員は逐年増加する傾向あり。本年に於ては實に八百三十七萬三千餘人を算し、前年に比し一萬八千六百餘人を増加せり。而して消費節約の叫ばるゝ時、此の如き多數の買出人あり、加之軟弱市況に終始せるは一見奇なるが如く觀察せらるゝも、この現象は即ち、一般に市場に對する理解の發達増進を示すは勿論、一方不景氣に依りて、從來鮮魚小賣商の手を経て購入せし各種飲食店業者が、營業不振を打開する一法として、仕入方法を改善し、市場より直接に購入する傾向を生ぜし事を語るものと認めらる。

本年に於ける最大入場者は、十二月三十日の三萬四百八十五人、最少は六月十四日の一萬三千八百六十七人にして、一ケ年を

一日平均入場者数は二萬三千七百八十九人、更に月別に見れば、最も多數の入場者を見たは、師走の七十八萬三百餘人、一日平均二萬六千十三人、最少は二月の五十六萬八千六百餘人、一日平均二萬一千六十一人なり。

貨物自動車は、本年に於ては三十三萬二千五百餘臺にして、前年に比し六千七百五十九臺を増加し、自轉車も百八十九萬九千餘臺にして、前年より九萬九千八百餘臺の増加を示し、手車は十九萬二千餘臺にして、前年に比し六千六百餘臺を減少せり。

自動車は逐年増加する傾向あるものにして、輸送の輕便、時間短縮經濟等のため、最も利用の範圍の廣きことを語り、自轉車の著しき増加は即ち前述の各種飲食店業者等の少量購買者の激増を語るものなり。

四、地方出荷數量

地方出荷と稱するは、一度市場に搬入せられたる魚荷を、取引後碎水を加へ荷造りの上、之を直接消費地に送るもの、及市内各驛より近縣に積出せらるゝもの總稱にして、此に従事せる者は地方出荷業者並に發送運送業者等の附屬運送業者なり。

而して隅田川驛經由のものは長野、新潟、富山、栃木、宮城

秋田縣を主とし數量千八百十餘噸、上野驛經由のものは上記各地方に至急を要するものを仕向け千二百餘噸、兩國驛經由のものは千葉方面を主とし千五百十餘噸、汐留驛扱は静岡、愛知を

初め阪神地方に迄及數量七百九十餘噸にして比較的少量なり。

飯田町、新宿驛經由のものは山梨縣、長野縣南部、岐阜縣一部等にして二千七百十餘噸、池袋經由のものは東上線各驛にして千三百四十餘噸、淺草驛のものは群馬、栃木、埼玉等の諸縣にして九百七十餘噸、又消費地直送は埼玉縣本庄、群馬縣高崎、前橋、栃木縣宇都宮、山梨縣上野原等を主とし、遠くとも六、七十哩以内の範圍に止り、その數量二千五百六十餘噸に達せり。出荷總數量は一萬二千二十八噸にして、昨年比すれば三千四百六十三噸の激減を示せり。

此の如き著しき減少は、農村並に小都市等地方消費地に於ける不景氣に依る購買力の衰退、又輸送方法の簡便化に依り漁業地より直接消費地に仕向けらるゝ數量の逐年増加する傾向に基く事大なりと推定せらる。出荷數量と入荷總數量の比較を對照するに、本年は約五分の割合を示せり。

五、冷蔵庫魚荷寄託狀況

當市場に入荷せる鮮魚介類の大部分は當日市場消化せられ、市設冷蔵庫に寄託せらるゝものゝ多くは、其の日に賣れ残りたる魚荷に對し利用せらるゝものにして、多量に纏りたる魚荷を寄託し、商機を待ちつゝ出庫販賣するが如き事殆んど稀なり。

從て之が利用者の大部分は東京魚市場組合員にして、地方荷主の利用には寧ろ不適當にして、殆んど利用者を見ざるなり。

本年度冷蔵庫寄託數量は一萬八千四百二十餘件の二千七百三十五噸にして、昨年度に比し件數、量數に於て約六割の激減を示し成績甚だ不振なりき。

如斯激減は即ち、中央卸賣市場建設の都合上十一月二十五日限業務を休止したるに因るは勿論なれ共、市場附近の私設冷蔵庫が區劃整理終了と共に再び開業せしと、假市場移轉後市場との距離遠く、且つ中央卸賣市場建設工事の進捗に伴ひ、通路狹められ日々其の搬出入に一方ならぬ不便を感じたため、利用者の極めて少數なりしに基くものにして、又不得止結果と云はざるべからず。

本年冷蔵庫の寄託魚荷を總入荷に對比すれば、昨年度に於て

は二分五厘なりしが、本年度に於ては僅かに一分一厘に過ぎず本年一日平均入荷數量七百二十噸に對し冷蔵庫保管數量一日平均は約八噸なりき。

年 月 別	驛 名	大正十三年		昭和十四年		昭和十五年		昭和十六年		昭和十七年	
		年	月	年	月	年	月	年	月	年	月
二 月	銚子	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
	勝浦	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
	千倉	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
	御宿	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
	大原	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
	八日市場	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
	房總各驛	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
	合計	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六

(一) 兩國橋驛

三、陸運入荷地方別七箇年比較

備考
一、本表一箇年合計ノ外四日市魚市場ヨリ轉送ノモノ約二、三千噸ニ達スル見込ナリ。
二、冷凍魚介ノ調査ハ大正十四年十二月ヨリ始ム。
三、昭和二年自動車直送噸ニ各年次ノ冷凍魚介ハ一ヶ月平均及一日平均ヲ算出セズ。

平一 均日	大正十三年	昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年	昭和十七年
銚子	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
勝浦	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
千倉	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
御宿	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
大原	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
八日市場	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
房總各驛	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六
合計	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六

平一 ヶ月	合一 ヶ年	大正十三年		昭和十四年		昭和十五年		昭和十六年		昭和十七年		
		年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	
十二 月	十一 月	銚子	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	
		勝浦	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	
		千倉	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	
		御宿	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	
		大原	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	
		八日市場	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	
		房總各驛	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	
		合計	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六	一、四八六

同同大正 十三年	同同大正 十四年	同同大正 十五年	同同大正 十六年	同同大正 十七年	同同大正 十八年	同同大正 十九年	同同大正 二十年	同同大正 二十一年	同同大正 二十二年	同同大正 二十三年	同同大正 二十四年	同同大正 二十五年	同同大正 二十六年	同同大正 二十七年	同同大正 二十八年	同同大正 二十九年	同同大正 三十年	同同大正 三十一年	同同大正 三十二年	同同大正 三十三年	同同大正 三十四年	同同大正 三十五年
十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七

三五



同同大正 十三年	同同大正 十四年	同同大正 十五年	同同大正 十六年	同同大正 十七年	同同大正 十八年	同同大正 十九年	同同大正 二十年	同同大正 二十一年	同同大正 二十二年	同同大正 二十三年	同同大正 二十四年	同同大正 二十五年	同同大正 二十六年	同同大正 二十七年	同同大正 二十八年	同同大正 二十九年	同同大正 三十年	同同大正 三十一年	同同大正 三十二年	同同大正 三十三年	同同大正 三十四年	同同大正 三十五年
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七

三四

年別	大正				昭和				備考
	十三年	十四年	十五年	十六年	十七年	十八年	十九年	二十年	
一月	同	同	同	同	同	同	同	同	備考 一、魚價ノ荷出驛名ハ本表記載ノ外ニ數多アルモ其ノ積出少量ナレバ之ヲ同方面ニ於ケル各驛欄中ニ包含セシメタリ以下同シ。
二月	同	同	同	同	同	同	同	同	
三月	同	同	同	同	同	同	同	同	
四月	同	同	同	同	同	同	同	同	
青森	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	
鹽釜	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
陸奥	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
奥	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
常盤	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
北陸	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
新潟	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
函館	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
北海道	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
其他	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
合計	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	

(11) 隅田川驛

年別	大正				昭和				備考
	十三年	十四年	十五年	十六年	十七年	十八年	十九年	二十年	
一月	同	同	同	同	同	同	同	同	備考 一、魚價ノ荷出驛名ハ本表記載ノ外ニ數多アルモ其ノ積出少量ナレバ之ヲ同方面ニ於ケル各驛欄中ニ包含セシメタリ以下同シ。
二月	同	同	同	同	同	同	同	同	
三月	同	同	同	同	同	同	同	同	
四月	同	同	同	同	同	同	同	同	
青森	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	
鹽釜	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
陸奥	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
奥	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
常盤	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
北陸	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
新潟	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
函館	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
北海道	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
其他	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	
合計	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	

平均日	平均月	合計年	昭和十四年		昭和十五年	
			同	大	同	大
三二二三四	四六七八六	五七二九一	五〇二九七	五〇二九七	五〇二九七	五〇二九七
二二二三四	三六四七六	四三三三三	四〇八六六	四〇八六六	四〇八六六	四〇八六六
五六五四四	一四八〇六	一七七八七	一六三二二	一六三二二	一六三二二	一六三二二
四五三四四	一一一八六	一三〇〇〇	一二三四四	一二三四四	一二三四四	一二三四四
一一一一一	一八八七六	二二二二二	二一〇〇〇	二一〇〇〇	二一〇〇〇	二一〇〇〇
五八一〇〇	一四四〇〇	一七五五五	一六二二二	一六二二二	一六二二二	一六二二二
一一一一一	一〇一七四	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一七〇	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
五六	八五二六	一〇二二二	九六六六	九六六六	九六六六	九六六六
一一一一一	四四三六	五二二二二	四八八八	四八八八	四八八八	四八八八
二二二三四	三三三三三	四二二二二	三九三三三	三九三三三	三九三三三	三九三三三
一一一一一	三三三三三	四二二二二	三九三三三	三九三三三	三九三三三	三九三三三
六七	二五二五	三二二二二	二九九九	二九九九	二九九九	二九九九
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
三三三三四	八五九九	一〇二二二	九六六六	九六六六	九六六六	九六六六
三三三三四	八五九九	一〇二二二	九六六六	九六六六	九六六六	九六六六
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇

平均日	平均月	合計年	昭和十四年		昭和十五年	
			同	大	同	大
九八六	四〇五六	五〇二九七	四七三三	四七三三	四七三三	四七三三
八〇二	三〇三三	四三三三三	三〇三三	三〇三三	三〇三三	三〇三三
一五九三	一三二六	一七七八七	一三二六	一三二六	一三二六	一三二六
一〇九三	〇〇七八	一三〇〇〇	一〇九三	一〇九三	一〇九三	一〇九三
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇
一一一一一	一一一一一	一二二二二	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇

年 月	大正十三年		昭和十四年		昭和十五年		昭和十六年		昭和十七年	
	同	和	同	和	同	和	同	和	同	和
八月	115	120	130	135	140	145	150	155	160	165
七月	120	125	135	140	145	150	155	160	165	170
六月	125	130	140	145	150	155	160	165	170	175
五月	130	135	145	150	155	160	165	170	175	180
四月	135	140	150	155	160	165	170	175	180	185

四五

年 月	大正十三年		昭和十四年		昭和十五年		昭和十六年		昭和十七年	
	同	和	同	和	同	和	同	和	同	和
三月	140	145	155	160	165	170	175	180	185	190
二月	145	150	160	165	170	175	180	185	190	195
一月	150	155	165	170	175	180	185	190	195	200

(四) 海運入荷地方別八箇年比較

備考一、十三年ニアリテハ長崎、下關方面ヨリ積出サレタル魚荷ヲ關西各驛欄中ニ一括計上セラルモ十四年以降ハ各別ニ之ヲ計上セリ。

出荷地	伊豆地方	三崎地方	房州地方	其他	生産地ヨリ直航	其他	合計
同	115	120	130	140	150	160	175
和	120	125	135	145	155	165	180
同	130	135	145	155	165	175	190
和	140	145	155	165	175	185	200
同	150	155	165	175	185	195	210
和	160	165	175	185	195	205	220
同	170	175	185	195	205	215	230
和	180	185	195	205	215	225	240
同	190	195	205	215	225	235	250
和	200	205	215	225	235	245	260

四四

年 月 別 驛 別	出 荷 數 量		發 送 數 量		消 費 地	
	一 月	二 月	一 月	二 月	一 月	二 月
同 和 十 三 年	三 〇 六	二 〇 一	一 一 二	一 一 二	一 一 二	一 一 二
同 正 十 四 年	三 〇 六	二 〇 一	一 一 二	一 一 二	一 一 二	一 一 二
同 正 十 五 年	三 〇 六	二 〇 一	一 一 二	一 一 二	一 一 二	一 一 二
年 月 別 驛 別						
同 和 十 三 年						
同 正 十 四 年						
同 正 十 五 年						

(五) 地方出荷數量七箇年比較

平一均日	平一均月	合一均計年
同同同同同同同同同 六五四三十一五十四三 年年年年年年年年年年	同同同同同同同同同 六五四三十一五十四三 年年年年年年年年年年	同同同同同同同同同 六五四三十一五十四三 年年年年年年年年年年
二一一一一一一一	五三三三三三三三三 四三三三三三三三三	六二二二二二二二二 三三三三三三三三三 六六六六六六六六六
一一一一一一一一一	五三三三三三三三三 四三三三三三三三三	六二二二二二二二二 三三三三三三三三三 六六六六六六六六六
一一一一一一一一一	五三三三三三三三三 四三三三三三三三三	六二二二二二二二二 三三三三三三三三三 六六六六六六六六六
一一一一一一一一一	五三三三三三三三三 四三三三三三三三三	六二二二二二二二二 三三三三三三三三三 六六六六六六六六六
一一一一一一一一一	五三三三三三三三三 四三三三三三三三三	六二二二二二二二二 三三三三三三三三三 六六六六六六六六六
一一一一一一一一一	五三三三三三三三三 四三三三三三三三三	六二二二二二二二二 三三三三三三三三三 六六六六六六六六六

同 大 正 十 三 年	同 和 十 三 年	同 正 十 四 年	同 正 十 五 年	同 和 十 三 年	同 正 十 四 年	同 正 十 五 年	同 和 十 三 年	同 正 十 四 年	同 正 十 五 年	同 和 十 三 年	同 正 十 四 年	同 正 十 五 年	同 和 十 三 年	同 正 十 四 年	同 正 十 五 年	同 和 十 三 年	同 正 十 四 年	同 正 十 五 年	同 和 十 三 年	同 正 十 四 年	同 正 十 五 年																						
十二月	十一月	十一月	十月	十月	十月	九月	九月	九月	九月	十二月	十一月	十一月	十月	十月	十月	九月	九月	九月	九月	九月	十二月	十一月	十一月	十月	十月	十月	九月	九月	九月	九月	九月	十二月	十一月	十一月	十月	十月	十月	九月	九月	九月	九月	九月	
三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一	三 八 五 一

種別	年月別	件				噸				前月ヨリノ				出庫			
		件	噸	件	噸	件	噸	件	噸	件	噸	件	噸	件	噸		
大正十四年	一月	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九		
	二月	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六		
	三月	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇		
	四月	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇		
大正十三年	一月	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九		
	二月	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六		
	三月	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇		
	四月	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇		

(六) 冷蔵庫保管數量八箇年比較

種別	年月別	件				噸				前月ヨリノ				出庫			
		件	噸	件	噸	件	噸	件	噸	件	噸	件	噸	件	噸		
大正十四年	一月	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九		
	二月	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六		
	三月	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇		
	四月	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇		
大正十三年	一月	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九	一	一七九		
	二月	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六	二	三六六		
	三月	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇	三	四七〇		
	四月	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇	四	五八〇		

備考 一、十三年ニ地方出荷數量ノ記載ナキハ都合上調査ヲ缺キシニ依ル。
 一、主ナル出荷先ハ長野縣、新潟縣、山梨縣、群馬縣、栃木縣、埼玉縣ニシテ千葉、神奈川諸縣之ニ次グ。
 一、十四年及十五兩年消費地直送ニハ池袋、淺草兩驛ヨリノ出荷ヲ包含ス。

年 月 別	種 別				
	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月
大正十五年	三、三三〇	二、一四〇	二、一六〇	二、一八〇	二、二〇〇
昭和十四年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和十三年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和十二年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和十一年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和十年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和九年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和八年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和七年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和六年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和五年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和四年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和三年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和二年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和元年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正十四年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正十三年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正十二年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正十一年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正十年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正九年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正八年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正七年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正六年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正五年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正四年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正三年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正二年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
大正元年	三、一七〇	二、〇九〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇

(七) 冷蔵品種類別入庫數量七箇年比較 (單位貫)

平一 均日	平一 均月
同同同同同大 六五四三二正 年年年年年十 年年年年年三 年年年年年四 年年年年年五 年年年年年年	同同同同同同 六五四三二正 年年年年年十 年年年年年四 年年年年年五 年年年年年年
一〇九 二〇六 一九八 一七九 一六二 一三九 一三九	一三六 六三〇 五七五 四七五 三九〇 三〇〇 二八八
二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二四九 八三三 六五九 七五七 六九四 六九四 六九四
〇・三	九 四四四
五六 一六 三〇 二〇 一六 一五 一三	一三六 四六四 五九三 八〇六 四四〇 四四〇 三六四
一七 二八 二六 二二 二二 二二 二二	一四八 八三五 七五九 六九三 六九三 六九三 六九三

備考 一、冷蔵庫ハ大正十三年七月三十日開始セリ。

一、出入庫噸數ノ端數ハ四捨五入シテ計上ス。

一、大正十三年、十四兩年ニ於テ出庫噸數ガ入庫噸數ニ超越セル月アルハ前月ヨリノ繰越在庫噸數ヲ計算セザルガ爲メナリ。

一、昭和三年六月二十五日ヨリ三十日迄ハ機械修理ノ爲メ全部出庫セルニヨリ繰越ナシ。

一、自大正十三年至昭和二年四ヶ年ノ出庫件數ハ商號ニ依リテ計算セシガ昭和三年ヨリ取扱件數ニ改メタリ。

一、昭和六年度ハ十一月二十五日限り一時營業ヲ休止ス。

種別	年月別				
	大正十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十一年
い	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
か	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
ひ	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
ら	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
め	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
か	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
れ	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
ひ	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
さ	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
ば	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
え	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
び	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900

種別	年月別				
	大正十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十一年
い	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
か	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
ひ	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
ら	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
め	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
か	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
れ	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
ひ	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
さ	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
ば	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
え	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900
び	10,800	10,900	10,900	10,900	10,900

種別	年月別				
	大正十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十一年
こはだ	入庫	一、七五五	一、七五五	一、七五五	一、七五五
	出庫	一、七五五	一、七五五	一、七五五	一、七五五
かま	入庫	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇
	出庫	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇
あぢ	入庫	一、八九〇	一、八九〇	一、八九〇	一、八九〇
	出庫	一、八九〇	一、八九〇	一、八九〇	一、八九〇
さびうを	入庫	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇
	出庫	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇
いわし	入庫	二七〇	二七〇	二七〇	二七〇
	出庫	二七〇	二七〇	二七〇	二七〇

種別	年月別				
	大正十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十一年
こはだ	入庫	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
	出庫	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
あぢ	入庫	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇
	出庫	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇
さびうを	入庫	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇
	出庫	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇
いわし	入庫	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
	出庫	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇

年 月 別	種 別		入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫
	こ の し ろ	あ か が ひ														
大正十五年	昭和三十四年	昭和三十三年	昭和三十二年	昭和三十一年	昭和三十年	昭和二十九年	昭和二十八年	昭和二十七年	昭和二十六年	昭和二十五年	昭和二十四年	昭和二十三年	昭和二十二年	昭和二十一年	昭和二十年	昭和十九年
一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
均日	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月
昭和三十二年	昭和三十一年	昭和三十年	昭和二十九年	昭和二十八年	昭和二十七年	昭和二十六年	昭和二十五年	昭和二十四年	昭和二十三年	昭和二十二年	昭和二十一年	昭和二十年	昭和十九年	昭和十八年	昭和十七年	昭和十六年
一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
均日	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月

六七

年 月 別	種 別		入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫
	こ の し ろ	あ か が ひ														
大正十五年	昭和三十四年	昭和三十三年	昭和三十一年	昭和三十年	昭和二十九年	昭和二十八年	昭和二十七年	昭和二十六年	昭和二十五年	昭和二十四年	昭和二十三年	昭和二十二年	昭和二十一年	昭和二十年	昭和十九年	昭和十八年
一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
均日	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月
昭和三十一年	昭和三十年	昭和二十九年	昭和二十八年	昭和二十七年	昭和二十六年	昭和二十五年	昭和二十四年	昭和二十三年	昭和二十二年	昭和二十一年	昭和二十年	昭和十九年	昭和十八年	昭和十七年	昭和十六年	昭和十五年
一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
均日	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月	均月

六六

種別	年月別				
	大正十四年	昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年	昭和十七年
生	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ま	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
す	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
と	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
り	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
が	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ひ	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
に	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
し	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ん	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
さ	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ん	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ま	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
其ノ他	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
鮮魚	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同

種別	年月別				
	大正十四年	昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年	昭和十七年
生	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ま	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
す	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
と	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
り	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
が	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ひ	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
に	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
し	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ん	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
さ	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ん	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
ま	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
其ノ他	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
鮮魚	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同

同大 正十 五年 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年				
十			九			八			七			六		
月			月			月			月			月		
二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇
二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇

ル依ニルタシ上計括包ニ欄ノ他其部全ヲノモルタリ下ニ以貫五十三百數品一庫

同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年
九			八			七			六		
月			月			月			月		
二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇
二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇

同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十四 年	年 月 別	種 別	
五			四			三			二			一		
月			月			月			月			月		
二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	入	合	
二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	出	計	

出入ノ日毎ツ且シ因原ニ越繰テシト主ハルア異差ニ量數庫出入品各ル々於ニ別月及計合 ●一 考備
ス業休メタノ理修械庫藏冷日六ル至ニ日十三ヲヨ日五十二月六年三和昭 ●一

較比年箇七高氷製屬附庫藏冷

同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	同同同 六五四 三年 年	同同同 和十 一十三 年	年 月 別		
五			四			三			二			一		
月			月			月			月			月		
二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	合		
二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、九〇〇	計		

リ七始開日五月八年三十正大ハ業事氷製 ●一考備
ス止休ヲ務事給メタノ理修械庫藏冷間日六ル至ニ日十三ヲヨ日五十二月六年三和昭 ●一

年	月	別
大正十三年 昭和十三年 昭和十四年 昭和十五年 昭和十六年 昭和十七年 昭和十八年 昭和十九年 昭和二十年 昭和二十一年 昭和二十二年 昭和二十三年	一	まぐろ
		きはだ
		めげち
		なび
		がん
		め
		ち
		ちま
		きか
		ちめ
		きか
		さあ
めを		
さほ		
めし		
大たひ		
中たひ		
小たひ		

九、鮮魚介相場八箇年比較

考備
魚名別上段ハ高値下段ハ低値トス以下皆同ジ、
別ニ平均魚價ハ便宜上各月ニテ除シ四捨五入セリ、

(一) 近海物 (其一) (十買建單位圓)

同同同昭同大	同同同
六五四三	六五四三
年年年年	年年年年
平一	平一ヶ月
均日	均月
一三二四 一八八 一七五 一九〇 一九六	五〇、四一三 五五、九一七 五六、四九九 一五、六三七

同同同昭同大	同同同昭同大	同同同昭同大	同同同昭同大	同同同昭同大
六五四三	六五四三	六五四三	六五四三	六五四三
年年年年	年年年年	年年年年	年年年年	年年年年
平一	平一ヶ月	合一ヶ年	十二月	十一月
均日	均月	計年	月	月
二、一五七 四、五五六 七、六六二 七、三二 六、〇六六 六、三六〇 六、三六〇	六四、四〇〇 一三三、三三八 二〇四、八八八 二〇四、八八八 一〇四、八八八 一七二、七六二 一八六、五六二	七〇八、八四〇 一、六〇〇、九〇〇 二、〇〇〇、〇〇〇 二、〇〇〇、〇〇〇 二、〇〇〇、〇〇〇 二、〇〇〇、〇〇〇 二、〇〇〇、〇〇〇	六、六〇〇 一、九八〇、〇〇〇 一、九八〇、〇〇〇 一、九八〇、〇〇〇 一、九八〇、〇〇〇 一、九八〇、〇〇〇 一、九八〇、〇〇〇	二、三七八、九五〇 二、三七八、九五〇 二、三七八、九五〇 二、三七八、九五〇 二、三七八、九五〇 二、三七八、九五〇 二、三七八、九五〇

昭同同大	同同同昭同同大	同同同昭同同大	同同同昭同同大	同同同昭同同大
和十三年	六五四三	六五四三	六五四三	六五四三
年年年年	年年年年	年年年年	年年年年	年年年年
平一	平一ヶ月	十二月	十一月	十月
均日	均年	月	月	月
五五、四〇一 一八、六六五 一、八八六	一七三、〇〇八 六六、四三九 六〇、四四四 六〇、四四四 六〇、四四四 六〇、四四四 六〇、四四四	一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇	七、五二〇 七、五二〇 七、五二〇 七、五二〇 七、五二〇 七、五二〇 七、五二〇	一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇 一、一八〇、〇〇〇

同大	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同
正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年
六月	五月	四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月
三三	四三	五三	六三	七三	八三	九三	〇三	一三	二三	三四	五三
二二	三二	四二	五二	六二	七二	八二	九二	〇二	一二	二二	三二
一一	二一	三一	四一	五一	六一	七一	八一	九一	〇一	一一	二一
〇〇	一〇	二〇	三〇	四〇	五〇	六〇	七〇	八〇	九〇	〇〇	一〇
九九	〇九	一九	二九	三九	四九	五九	六九	七九	八九	九九	〇九
八八	九八	〇八	一八	二八	三八	四八	五八	六八	七八	八八	九八
七七	八七	九七	〇七	一七	二七	三七	四七	五七	六七	七七	八七
六六	七六	八六	九六	〇六	一六	二六	三六	四六	五六	六六	七六
五五	六五	七五	八五	九五	〇五	一五	二五	三五	四五	五五	六五
四四	五四	六四	七四	八四	九四	〇四	一四	二四	三四	四四	五四
三三	四三	五三	六三	七三	八三	九三	〇三	一三	二三	三三	四三
二二	三二	四二	五二	六二	七二	八二	九二	〇二	一二	二二	三二
一一	二一	三一	四一	五一	六一	七一	八一	九一	〇一	一一	二一
〇〇	一〇	二〇	三〇	四〇	五〇	六〇	七〇	八〇	九〇	〇〇	一〇
九九	〇九	一九	二九	三九	四九	五九	六九	七九	八九	九九	〇九

同大	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同	同同同同
正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年	正和十四三年
六月	五月	四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月
三三	四三	五三	六三	七三	八三	九三	〇三	一三	二三	三四	五三
二二	三二	四二	五二	六二	七二	八二	九二	〇二	一二	二二	三二
一一	二一	三一	四一	五一	六一	七一	八一	九一	〇一	一一	二一
〇〇	一〇	二〇	三〇	四〇	五〇	六〇	七〇	八〇	九〇	〇〇	一〇
九九	〇九	一九	二九	三九	四九	五九	六九	七九	八九	九九	〇九
八八	九八	〇八	一八	二八	三八	四八	五八	六八	七八	八八	九八
七七	八七	九七	〇七	一七	二七	三七	四七	五七	六七	七七	八七
六六	七六	八六	九六	〇六	一六	二六	三六	四六	五六	六六	七六
五五	六五	七五	八五	九五	〇五	一五	二五	三五	四五	五五	六五
四四	五四	六四	七四	八四	九四	〇四	一四	二四	三四	四四	五四
三三	四三	五三	六三	七三	八三	九三	〇三	一三	二三	三三	四三
二二	三二	四二	五二	六二	七二	八二	九二	〇二	一二	二二	三二
一一	二一	三一	四一	五一	六一	七一	八一	九一	〇一	一一	二一
〇〇	一〇	二〇	三〇	四〇	五〇	六〇	七〇	八〇	九〇	〇〇	一〇
九九	〇九	一九	二九	三九	四九	五九	六九	七九	八九	九九	〇九

Table with 5 columns of years (Meiji, Taisho, Showa, Heisei) and 5 rows of fish names (e.g., かつお, ひらめ). Each cell contains a grid of small numbers representing prices or quantities.

Table with 10 columns of years (Meiji, Taisho, Showa, Heisei) and 10 rows of fish names (e.g., かつお, ひらめ). Each cell contains a grid of small numbers representing prices or quantities.

近海物

(其二) (十貫建單位圓)

年
月
別
か
つ
を
ぶ
り
わ
ら
さ
い
な
た
き
ん
め
あ
か
ひ
う
す
す
き
む
つ
ば
ら
い
さ
き
う
た
を
ち
さ
ば

近海物 (其三) (十貫建單位圓)

魚平 價均	同同同同同大 和正 六五四三十一 年年年年年年 十二月	同同同同同大 和正 六五四三十一 年年年年年年 十一月	同同 六五 年年
四四四六元元七三	四元六元五元三元七	四元六元五元三元七	元六
六六三二二三二〇六	六〇五元八四四三	元五二五〇四〇五	元〇
四四四六元元七三	四元六元五元三元七	四元六元五元三元七	元六
三六〇三六六三三七	三〇三四元五元六三	三〇三四元五元六三	元七
五四五	五四五	四八〇	
四四六	四四七	四四四	
一〇九二二二二〇八	一〇九二二二二〇八	一〇九二二二二〇八	一〇九
七六六六六六六六六	七六六六六六六六六	七六六六六六六六六	九七四
七五五七七八七	六九六八	六六五五六七	八七
五四八三四	四〇四四五	四三三四四	五六
二五七二八〇七五	七六元三三三六	七六元三三三六	〇
一〇三三三三三八〇	二一八三三三三三七	二一八三三三三三七	一六
〇六四四九	三五七元	四一四元	〇
一六二二三四	七一四	八七二	七
五五七六五九六六六	六四七六六七八八	四七五五五五六六八	五八
四四四五五五五七	五〇七五五五六六六	五五四〇七〇五三七	四四
三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三
五九三三三三三三三	四三三三三三三三三	元八〇三三三三三三	元六
元元元元元元	元元元元元元	元元元元元元	
四三三三三三三三三	元元元元元元	元元元元元元	
〇〇三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	〇
七八八三三三三三三	八三三三三三三三三	八三三三三三三三三	八
六六〇八〇六六〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇	四四
一三七六六〇三三三	〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇	二二

同同同同同大 和正 四三十一 年年年年年年 十月	同同同同同大 和正 六五四三十一 年年年年年年 九月	同同同同同大 和正 六五四三十一 年年年年年年 八月	同同同同同大 和正 六五四三十一 年年年年年年 七月	同同同同同大 和正 六五四三十一 年年年年年年 六月
〇六元元元元	四四四〇四三六四	元五元六元七元	六〇元	七六三元
九三三三三三三	元五元六元七元	三六元四元五元	〇四元	〇四元
元六四四四四四	四元六元五元三元七	三元四元五元六元	三元六元七元八元	三元六元七元八元
三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三
三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三
四	四	四	四	四
七	七	七	七	七
二二二二二二二二二	二二二二二二二二二	二二二二二二二二二	二二二二二二二二二	二二二二二二二二二
五五五五五五五五五	五五五五五五五五五	五五五五五五五五五	五五五五五五五五五	五五五五五五五五五
七六六六六六六六六	七六六六六六六六六	七六六六六六六六六	七六六六六六六六六	七六六六六六六六六
六〇六	九六八	七五八	五七五	六五
四六四	七五七六	五五四三七	三五五	五〇
五〇三元	元	元	元	元
三四三三三	三四三三三	三四三三三	三四三三三	三四三三三
一六	二二〇	二八	一六	一五
二二	七八	一四	二二	二
五五六六七七	元七四三三三三三三	三三三三三三三三三	元三三三三三三三三	三三三三三三三三三
五五五五六六六	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三
四四四五七四	元四四四四四三三	三三三三三三三三三	六三三三三三三三三	九三三三三三三三三
元元元元元元	元元元元元元	元元元元元元	元元元元元元	元元元元元元
三三三三三三三三三	元元元元元元	元元元元元元	元元元元元元	元元元元元元
六〇七	四九	三	六	
六	三	〇五	〇五〇	二五三三五〇
四	〇	八三	八三七	〇三三三三三七
〇五〇三三元	五五九六八五三六	三四七七八四八九	二二六五七三三六	〇五五八八六七〇
八三三三七二	二二七四五六八〇	八二四三三七二二	六一四三五六八九	五三三三四二二二

同同同昭同大 同同同昭同大 同同同昭同大 同同同昭同大 同同同昭同大				
和正和正和正和正和正				
六五四三二一 六五四三二一 六五四三二一 六五四三二一 六五四三二一				
年年年年年年 年年年年年年 年年年年年年 年年年年年年 年年年年年年				
五 四 三 二 一				
月 月 月 月 月				
七四九九三	三三三〇二	三三三〇二	三三三〇二	三三三〇二
三二七六七	七五八五八	七三三〇八	二六六〇七	六八二二八
二四八二二	一六三三三	四七〇二九	五五〇二九	六五三三三
〇三七一三	三三三三三	二六七九五	二四八〇六	四三九三二
九四三三〇	二七七三三	三二六六五	二三四三二	〇三三三三
五九三三三	七四六九四	一七二二二	九九九九九	九六三〇三
三三三四二	四五五四	三〇九九五	二四三三三	三三三三三
九三三五	四四五五	一三五〇三	六六六六六	六三三三三
〇七八〇五	三二七〇三	二八〇三三	三二七二九	一六一三三
一六九〇一	一九二二二	二五〇三三	〇〇八五五	一八二二二
一八〇一	六三二〇〇	四八二二二	一八二二二	二二二二二
一五二	〇二二〇〇	九六六二二	四六六二二	二二二二二
六三七八九	八三二二二	一五二二二	七五二二二	六三二二二
四九七五〇	六五二二二	一三二二二	六四二二二	五八二二二
三三	二八三	五九九	三三三	三三三
〇	三三三	三三三	三三三	三三三
四四四	五五五	四四四	六六六	三三三
三三三	五五五	三三三	五五五	三三三
二二二	二二二	三三三	三三三	二二二
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
九八〇	七九九	九九九	六〇〇	二二二
七五八八九	七七二〇〇	八八八九九	七八八九九	五七七
〇七三三五	〇〇〇四九	〇〇〇四九	〇〇〇四九	〇〇〇
五五五	五五五	六六六	六六六	六六六
三三三	三三三	四四四	三三三	三三三
一一一	一一一	二二二	一一一	一一一

八九

年 月 別	魚 價 均	同同同昭同大 同同同昭同大 同同同昭同大 同同同昭同大			
		和正和正和正和正			
同同同昭同大 同同同昭同大 同同同昭同大 同同同昭同大		六五四三二一 六五四三二一 六五四三二一 六五四三二一			
年年年年年年 年年年年年年 年年年年年年 年年年年年年		年年年年年年 年年年年年年 年年年年年年 年年年年年年			
十二月 十一月 十月					
七二二二二	三三三〇二	三三三〇二	三三三〇二	三三三〇二	三三三〇二
六二二二二	七五八五八	七三三〇八	二六六〇七	六八二二八	六二二二二
五二二二二	一六三三三	四七〇二九	五五〇二九	六五三三三	五二二二二
四二二二二	三三三三三	二六七九五	二四八〇六	四三九三二	四二二二二
三二二二二	二七七三三	三二六六五	二三四三二	〇三三三三	三二二二二
二二二二二	七四六九四	一七二二二	九九九九九	九六三〇三	二二二二二
一一二二二	四五五四	三〇九九五	二四三三三	三三三三三	一一二二二
〇二二二二	四四五五	一三五〇三	六六六六六	六三三三三	〇二二二二
九二二二二	三二七〇三	二八〇三三	三二七二九	一六一三三	九二二二二
八二二二二	一九二二二	二五〇三三	〇〇八五五	一八二二二	八二二二二
七二二二二	六三二〇〇	四八二二二	一八二二二	二二二二二	七二二二二
六二二二二	〇二二〇〇	九六六二二	四六六二二	二二二二二	六二二二二
五二二二二	二八三	五九九	三三三	三三三	五二二二二
四二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	四二二二二
三二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	三二二二二
二二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	二二二二二
一一二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	一一二二二
〇二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	〇二二二二
九二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	九二二二二
八二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	八二二二二
七二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	七二二二二
六二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	六二二二二
五二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	五二二二二
四二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	四二二二二
三二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	三二二二二
二二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	二二二二二
一一二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	一一二二二
〇二二二二	三三三	三三三	三三三	三三三	〇二二二二

近海物 (其四) (十貫建單位圓) (一尾建單位錢)

いすかみやかり 生たこ たゆこで えくるま まさきい えし びば えぼたん (二尾付) 大あち あち(中) あち(小)

八九

年 月 別	魚平 價均	同同同昭同同大			同同同昭同同大			同同同昭同同大		
		六五四三	和十	一五	六五四三	和十	一五	六五四三	和十	一五
別	同同同昭同同大	年	年	年	年	年	年	年	年	年
大 た ひ	二〇三八三 五五四七一	二 四	四 〇	二 〇	三 〇	二 四	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇
か す こ	四三三三四 五三九五五	四 〇	四 五	三 〇	五 〇	六 五	四 〇	四 五	二 〇	二 〇
だ く	九一七八五 八〇〇〇四	二 七	四 〇	三 四	四 〇	五 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇
ひ ろ	九七五一一 五四〇四五	二 〇	五 四	七 六	四 〇	二 〇	四 五	四 〇	四 〇	七 〇
す す き										
ふ つ こ										
あ わ ひ										
あ わ ひ										
か い し										
こ ち										
あ な ご										
え い										
あ か が ひ										

年 月 別	同同同昭同同大			同同同昭同同大			同同同昭同同大			同同同昭同同大		
	四三	和十	一五	六五四三	和十	一五	六五四三	和十	一五	六五四三	和十	一五
別	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
十 月	二 〇	四 〇	二 〇	三 〇	二 四	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇
九 月	四 〇	四 五	三 〇	五 〇	六 五	四 〇	四 五	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇
八 月	八 〇	二 〇	九 〇	二 〇	二 〇	二 〇	九 〇	八 〇	九 〇	二 〇	二 〇	二 〇
七 月	三 〇	五 〇	四 〇	七 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇	二 〇
六 月												

大正 和 十 三 年 年 年 年	大正 和 十 三 年 年 年 年	大正 和 十 三 年 年 年 年	大正 和 十 三 年 年 年 年	大正 和 十 三 年 年 年 年
五	四	三	二	一
月	月	月	月	月
七九六七八六〇	七四〇一三二七〇	六五〇三三九五〇	六四四一〇四二〇	六三〇九四九五五〇
五九四九三五三	五四七八六一九四〇	五〇七三三九九六	四九八二八八六〇	四八四六四七七三
九九八〇八七〇	八九三三九四二〇	八三三〇八三七一	八〇三三二四二五	七五二二二〇三九
六六六六六五	六二二九三九四九	六八〇八二二四九	六四三三九九九〇	五八八八九八七〇
三三〇四三〇	二六四四八九五〇	二二四六九三二七	二〇三三六五六三	一八八九五七七二
二二九一〇二〇	〇九九八二五七〇	九七三〇三三九九	八七二七三三三三	七二二二四〇〇〇
一〇〇三	二一〇八	二〇四	一九	二〇
一七五	七八	八三	七〇	六九
九	七	七	五	四
七	八	〇	二	〇
五	五	五	四	八
四	三	三	五	四

年 月 別	魚平 價均	同 和 十 三 年 年 年 年		同 和 十 三 年 年 年 年		同 和 十 三 年 年 年 年	
		十二月	十一月	十一月	十一月	十一月	十一月
えし	五三五六四八〇	四五三八七五七	二二八五三六六	九四五五			
びば	二〇三三二二六五	三四二六三三三	〇〇六五三三三	七二二二			
すえび	四九七七四二七六	四四四四四四	九六五四九	九六七七五			
えく	三三三〇三三三六	三五七七九	〇三九四三	六四三三三			
びま	八七八八八八	八五七三三	七四三三				
せえび	四四五三三三二	二三四八〇	四三三				
えび	八九一三	七四四	七五九三	七一〇			
無頭い	七七七〇	五二二	三三九	六〇八			
二二三三〇二	三二三五三	九二二〇	二二〇				
八〇〇〇八九	八九九三	七九二九	〇九				
八八七九九九	八八八	八					
六六六八六七	六七六	一五					
六七九〇八八七	八	八	九八				
五五六八九七七六	七	七	八七				
二二三二四	八四二五	九四九六	四二				
七〇九二	五八八二	六七七三	〇八				
六八八八九	五九九九九	七九九七	五〇二〇				
四七七七七	五八八七	六八七六	五九九九				
五七八八二	五六八〇	二四九九八	六七九〇〇				
四六七七七九	四七七八	三三七五八七	五六八八九				
〇〇六七七六三	〇〇六七七六三	八〇四五五六七	七七二三四				
七八三二八〇〇	七三九六六〇九	六六三二二八七	五五九七二				
八八四四五四四五	八五五五五五六	七七三三三三七	六三三三七				
六六〇九二二七	七二〇九九九九〇	五五九七三〇四	四四七六九〇				

關西物 (其三) (十貫建單位圓)

年	月	別	魚平	同同同昭同大			同同同昭同大			同同同昭同大			同同同昭同大			同同同昭同大								
			均	六五三	四五二	三二一	六五三	四五二	三二一	六五三	四五二	三二一	六五三	四五二	三二一	六五三	四五二	三二一	六五三	四五二	三二一			
同	同	同	均	六	五	三	六	五	三	六	五	三	六	五	三	六	五	三	六	五	三	六	五	三
同	同	同	均	四	三	二	四	三	二	四	三	二	四	三	二	四	三	二	四	三	二	四	三	二
同	同	同	均	三	二	一	三	二	一	三	二	一	三	二	一	三	二	一	三	二	一	三	二	一
同	同	同	均	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇
同	同	同	均	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇
同	同	同	均	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

年	月	別	魚平	同同同昭同大			同同同昭同大			同同同昭同大			同同同昭同大											
			均	六五三	四五二	三二一	六五三	四五二	三二一	六五三	四五二	三二一	六五三	四五二	三二一									
同	同	同	均	六	五	三	六	五	三	六	五	三	六	五	三	六	五	三	六	五	三	六	五	三
同	同	同	均	四	三	二	四	三	二	四	三	二	四	三	二	四	三	二	四	三	二	四	三	二
同	同	同	均	三	二	一	三	二	一	三	二	一	三	二	一	三	二	一	三	二	一	三	二	一
同	同	同	均	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇	二	一	〇
同	同	同	均	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇
同	同	同	均	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

三 陸 物 (其二) (十貫建單位圓)
 かつをむのひらめすゞき 大ぎす 小ぎす あなご さめむき さむき かまつかほ かねた めす

年	月	別	魚平 價均		同 六 年
			同 六 年	同 六 年	
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大

年	月	別	魚平 價均		同 六 年
			同 六 年	同 六 年	
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大
同	同	同	同	同	同
昭	和	正	昭	和	正
大	大	大	大	大	大

(五) 北海道

(十貫建單位圓)

一一九

一二八

年 月 別	魚	魚平	
		均	價
		同同同同同大 和正 六五四三二五 年	同同同同同大 和正 六五四三二五 年
かぢき	五四三二二〇五三	七 三 〇五五	六二〇七四六八六
さ	〇二一六六七〇七	〇 九 四九四	二一六二九四四二
け	五〇〇九〇〇二四	六六八 九	四九三九
ます	一一六五六六八九	二二三 四	二一七五
さ	八八八〇 五九〇五一九二二		
ば	六九七九九八〇〇		
米國えび	一〇八五八五五七五	二三八〇八九 四	〇二四〇六六七 〇〇
とびうを	八〇 三		
さんま	六三三六四三五三	〇一五八七六 九	〇三三八五四五 八九
にしん	八、九 二	七八二二〇二二〇	八九五二二一三 八九
いか	七八〇四六九九九	六七〇七九九二八	六八〇八九九九 七五
ぶり	五、七 七五七七七六	四六	
名	四五六六六五	四、 三七	
	四五、 九九七七七	五五七八七 六	六三六 七
	三、 五五六六六	三四六六六 五	四二五 六
	五六、 七五七七七	四五、 五五七八七	八六 七
	四五、 四五六六六	四、 三五六六六	六五 六
	五、 四六六六六	三、五 五五四六六	六、三五 六
	三四、 九六五五五	二、四 五四六五五	四、八四 五
	五、 五四七七六	四五六七六	
	四、 四五六六五	三四五六五	
	一一一 〇一五五四五六	九、一一一 五九四六一七〇	九〇五六四二五五 九、五
	九、 八七四四二二三	七、一一一 八五三三〇三	八八四三三〇一 八、五
	一二三二二三六 三三九一六五〇		
	一二二二二二四 〇〇二七一五〇		

(六) 冷凍魚 (十貫建單位圓) (一尾建單位錢)

111

年 月 別	魚	魚平	
		均	價
		同同同同同大 和正 六五四三二五 年	同同同同同大 和正 六五四三二五 年
十 月	六四八三二〇	〇〇二八〇三〇三	八八二二〇
九 月	一四四五九六〇四五	一〇二八〇三〇三	八八二二〇
八 月	六五四三二五	六五四三二五	六五九〇八
七 月	六五四三二五	六五四三二五	六五九〇八
六 月	六五四三二五	六五四三二五	六五九〇八

110

同和正 四年三十五年 年年年年		同和正 六五四三 年年年年		同和正 六五四三 年年年年		同和正 六五四三 年年年年		同和正 六五四三 年年年年	
五	四	三	二	一	五	四	三	二	一
四二二	〇三二	九			四二二	〇三二	九		
二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三
二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
四七五	四七五	四七五	四七五	四七五	四七五	四七五	四七五	四七五	四七五
五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三	五三三
二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三
二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

年 月 別	魚平 價均	同和正 六五四三 年年年年			同和正 六五四三 年年年年			同和正 六五四三 年年年年		
		十二月	十一月	十月	十二月	十一月	十月	十二月	十一月	十月
身欠	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
内産	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
子	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
たら子	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
めざし	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
一本に付	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
焼くわ	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
冷蔵新	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
巻き	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
カマサツカ	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
カマサツカ	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
名										

111

110

魚平 價均	同同同昭同同大	同同同昭同同大	同同同昭同同大
	六五四三和十十三	六五四三和十十三	六五四三和十十三
	年年年年年年年	年年年年年年年	年年年年年年年
七、二、四、三、一、二、一、		七、五、	七、五、
七、五、八、七、一、五、七、		六、五、	六、五、
六、二、三、二、一、五、二、三、			
二、八、二、三、六、三、五、八、	三、七、五、	三、三、六、八、三、四、三、	三、三、三、三、
一、九、三、二、二、三、五、八、	二、五、一、五、	二、一、六、四、三、五、	二、一、五、三、六、
一、六、二、五、二、八、二、六、	三、三、二、五、	一、六、二、四、三、五、	一、五、三、二、六、
二、七、四、六、八、六、三、	二、六、六、三、六、九、	二、九、四、三、二、一、八、	四、五、七、
二、二、二、四、一、五、一、四、	二、六、四、三、五、八、	二、五、三、二、一、七、	二、五、五、
二、九、四、六、二、五、四、	二、六、四、三、五、八、	二、五、三、二、一、七、	二、五、五、
〇、一、〇、一、一、一、一、	〇、〇、一、	〇、〇、二、	〇、〇、
八、五、八、一、五、八、五、	〇、九、九、四、	〇、八、八、一、	〇、八、七、
〇、一、〇、〇、一、一、一、	〇、〇、〇、	〇、〇、三、	〇、〇、六、
六、三、六、八、〇、六、	〇、八、八、八、	〇、七、六、三、	〇、七、六、
二、二、四、三、三、三、三、	二、三、三、四、四、四、三、	二、二、三、四、四、三、	二、二、四、三、四、
七、九、〇、九、八、六、	五、〇、七、六、〇、〇、九、	五、一、六、三、一、〇、八、	三、五、三、八、〇、
一、二、三、三、二、二、二、	一、二、三、三、三、三、三、	一、二、三、三、三、三、	二、五、三、三、五、
二、三、三、二、四、六、九、	五、四、〇、九、五、五、〇、	五、一、八、一、三、一、七、	五、〇、五、〇、五、
二、二、二、二、二、二、二、	三、五、九、八、八、	二、〇、七、三、六、	〇、八、一、三、四、
四、三、七、一、六、八、	二、二、二、二、六、	〇、一、七、三、一、	七、一、七、二、四、
一、〇、九、一、一、一、一、	二、二、二、二、六、	〇、一、八、四、三、五、	九、二、五、〇、二、三、
二、二、五、八、四、七、	九、九、三、	四、五、九、八、三、	一、四、六、九、三、
九、一、二、六、二、一、四、三、	六、八、五、	八、六、二、	六、一、〇、
七、一、一、二、一、〇、			
九、九、〇、三、五、〇、			
七、六、三、五、〇、六、六、七、七、			
五、五、八、八、九、四、五、			

同同大	同同同昭同同大	同同同昭同同大	同同同昭同同大	同同同昭同同大	同同		
正和十	正和十	正和十	正和十	正和十	正和十		
五十四	五十四	五十四	五十四	五十四	五十四		
年年	年年	年年	年年	年年	年年		
九		八		七		六	
月		月		月		月	
三	七、五、	二、四、五、三、八、	六、五、七、五、四、六、四、七、	六、八、一、一、三、五、六、	四、二、四、五、三、二、六、	八、三、	
二	六、五、	二、〇、二、	五、六、四、〇、三、	五、七、二、〇、八、三、三、	六、一、二、五、二、二、二、	七、二、	
三、四、	〇、元、	六、五、	〇、三、五、五、			〇、	
二、七、	一、七、	六、七、	一、六、四、			一、六、	
	〇、						
	〇、						
四、六、	二、三、六、五、五、		二、	二、二、四、三、三、	二、二、三、三、三、三、	二、	
三、	四、七、〇、七、〇、			二、八、一、〇、五、	三、五、八、一、六、二、二、	三、五、	
	一、三、四、五、四、		一、	一、三、二、〇、三、	一、二、二、二、〇、二、	二、〇、	
	〇、一、六、八、五、七、		九、	五、二、四、六、六、八、	二、五、九、		
	九、〇、一、五、七、三、五、		二、	一、二、二、二、五、			
	四、四、九、		九、	二、〇、四、	〇、八、		
	八、八、		八、	九、八、	九、		
六、九、六、	七、		六、	八、	八、		
五、八、	六、		五、	六、	五、		

平一 ヶ 均月	合一 ヶ 計年	同同同昭同大 六五四三和正 年年年年年年 十二月					同同同昭同大 六五四三和正 年年年年年年 十一月					同同同昭同大 六五四三和正 年年年年年年 十月															
		同	同	同	昭	大	同	同	同	昭	大	同	同	同	昭	大											
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	三三九、三五〇	二九一、四〇〇	二九五、五〇〇	三〇〇、九〇〇	一九八、五八〇	二四〇、五二五	二四五、四〇〇	二二〇、八七〇	二一八、五〇〇	二一七、〇〇〇	二一三、八〇〇	二〇〇、〇〇〇	一九一、四〇〇	三三九、三五〇	二九一、四〇〇	二九五、五〇〇	三〇〇、九〇〇	一九八、五八〇	二四〇、五二五	二四五、四〇〇	二二〇、八七〇	二一八、五〇〇	二一七、〇〇〇	二一三、八〇〇	二〇〇、〇〇〇	一九一、四〇〇
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	一〇、九七三	九、九七一	九、三六一	一〇、三六六	六、六二九	八、二九四	七、九四三	八、四六二	五、〇七九	七、七三三	七、〇三三	六、八〇〇	三、〇四六	一〇、九七三	九、九七一	九、三六一	一〇、三六六	六、六二九	八、二九四	七、九四三	八、四六二	五、〇七九	七、七三三	七、〇三三	六、八〇〇	三、〇四六
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	七、〇〇六	七、七六八	七、二六八	八、〇七二	六、八〇七	七、五〇〇	六、五三〇	七、二五〇	四、五三〇	六、三〇〇	六、八〇〇	六、五〇〇	五、五二〇	七、〇〇六	七、七六八	七、二六八	八、〇七二	六、八〇七	七、五〇〇	六、五三〇	七、二五〇	四、五三〇	六、三〇〇	六、八〇〇	六、五〇〇	五、五二〇
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	二、三九〇	二、六四一	二、九五〇	二、八〇〇	一、八七三	二、一七六	二、四七三	二、七六〇	一、六四四	二、〇三三	二、三二二	二、六一一	一、八五〇	二、三九〇	二、六四一	二、九五〇	二、八〇〇	一、八七三	二、一七六	二、四七三	二、七六〇	一、六四四	二、〇三三	二、三二二	二、六一一	一、八五〇
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	一、八五二	一、七八一	一、七二七	一、六四七	一、五三七	一、四八八	一、四三九	一、三九〇	一、三三〇	一、二七一	一、二一八	一、一六九	一、四四九	一、八五二	一、七八一	一、七二七	一、六四七	一、五三七	一、四八八	一、四三九	一、三九〇	一、三三〇	一、二七一	一、二一八	一、一六九	一、四四九
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	六、三二二	六、一六二	六、〇〇二	五、八四二	五、六八二	五、五二二	五、三六二	五、二〇二	五、〇四二	四、八八二	四、七二二	四、五六二	四、四〇二	六、三二二	六、一六二	六、〇〇二	五、八四二	五、六八二	五、五二二	五、三六二	五、二〇二	五、〇四二	四、八八二	四、七二二	四、五六二	四、四〇二
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	四、七七一	四、五六一	四、四〇一	四、二四一	四、〇八一	三、九二一	三、七六一	三、六〇一	三、四四一	三、二八一	三、一二一	二、九六一	二、八〇一	四、七七一	四、五六一	四、四〇一	四、二四一	四、〇八一	三、九二一	三、七六一	三、六〇一	三、四四一	三、二八一	三、一二一	二、九六一	二、八〇一
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	七、七七一	七、五六一	七、四〇一	七、二四一	七、〇八一	六、九二一	六、七六一	六、六〇一	六、四四一	六、二八一	六、一二一	五、九六一	五、八〇一	七、七七一	七、五六一	七、四〇一	七、二四一	七、〇八一	六、九二一	六、七六一	六、六〇一	六、四四一	六、二八一	六、一二一	五、九六一	五、八〇一
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	四、七七一	四、五六一	四、四〇一	四、二四一	四、〇八一	三、九二一	三、七六一	三、六〇一	三、四四一	三、二八一	三、一二一	二、九六一	二、八〇一	四、七七一	四、五六一	四、四〇一	四、二四一	四、〇八一	三、九二一	三、七六一	三、六〇一	三、四四一	三、二八一	三、一二一	二、九六一	二、八〇一
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	二、三九〇	二、六四一	二、九五〇	二、八〇〇	一、八七三	二、一七六	二、四七三	二、七六〇	一、六四四	二、〇三三	二、三二二	二、六一一	一、八五〇	二、三九〇	二、六四一	二、九五〇	二、八〇〇	一、八七三	二、一七六	二、四七三	二、七六〇	一、六四四	二、〇三三	二、三二二	二、六一一	一、八五〇

平一 ヶ 均月	合一 ヶ 計年	同同同昭同大 六五四三和正 年年年年年年				
		同	同	同	昭	大
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	二、三九〇	二、六四一	二、九五〇	二、八〇〇	一、八七三
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	一、八五二	一、七八一	一、七二七	一、六四七	一、五三七
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	六、三二二	六、一六二	六、〇〇二	五、八四二	五、六八二
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	四、七七一	四、五六一	四、四〇一	四、二四一	四、〇八一
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	七、七七一	七、五六一	七、四〇一	七、二四一	七、〇八一
二四〇〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇	二、三九〇	二、六四一	二、九五〇	二、八〇〇	一、八七三

備考 一、大正十三年ハ各欄、同十四年ハ汚泥調査ヲ缺ク。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

府縣別産出魚類品名表

(當市場ニ入荷スルモノヲ主トシ) 數量ノ少キモノハ除ク

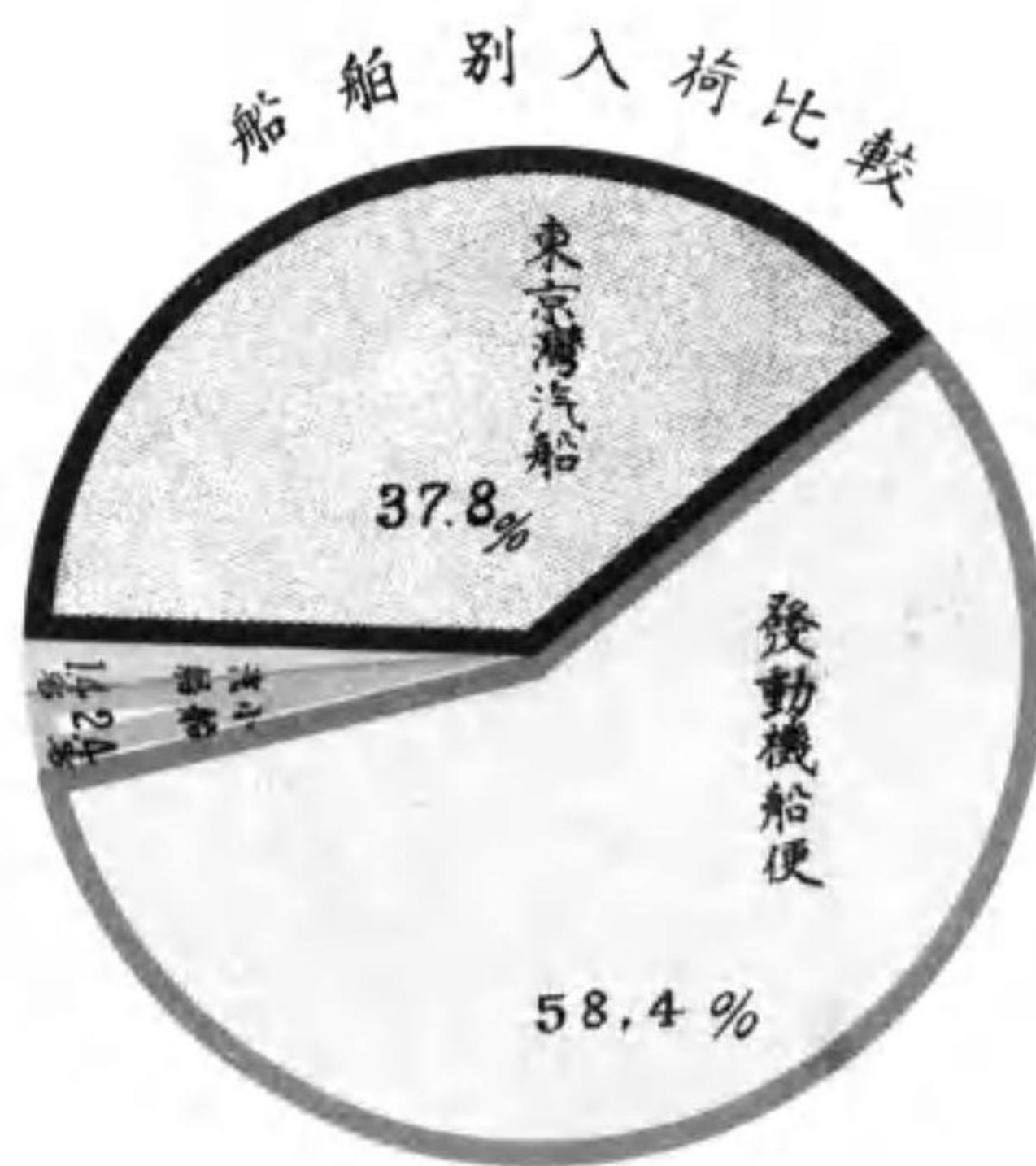
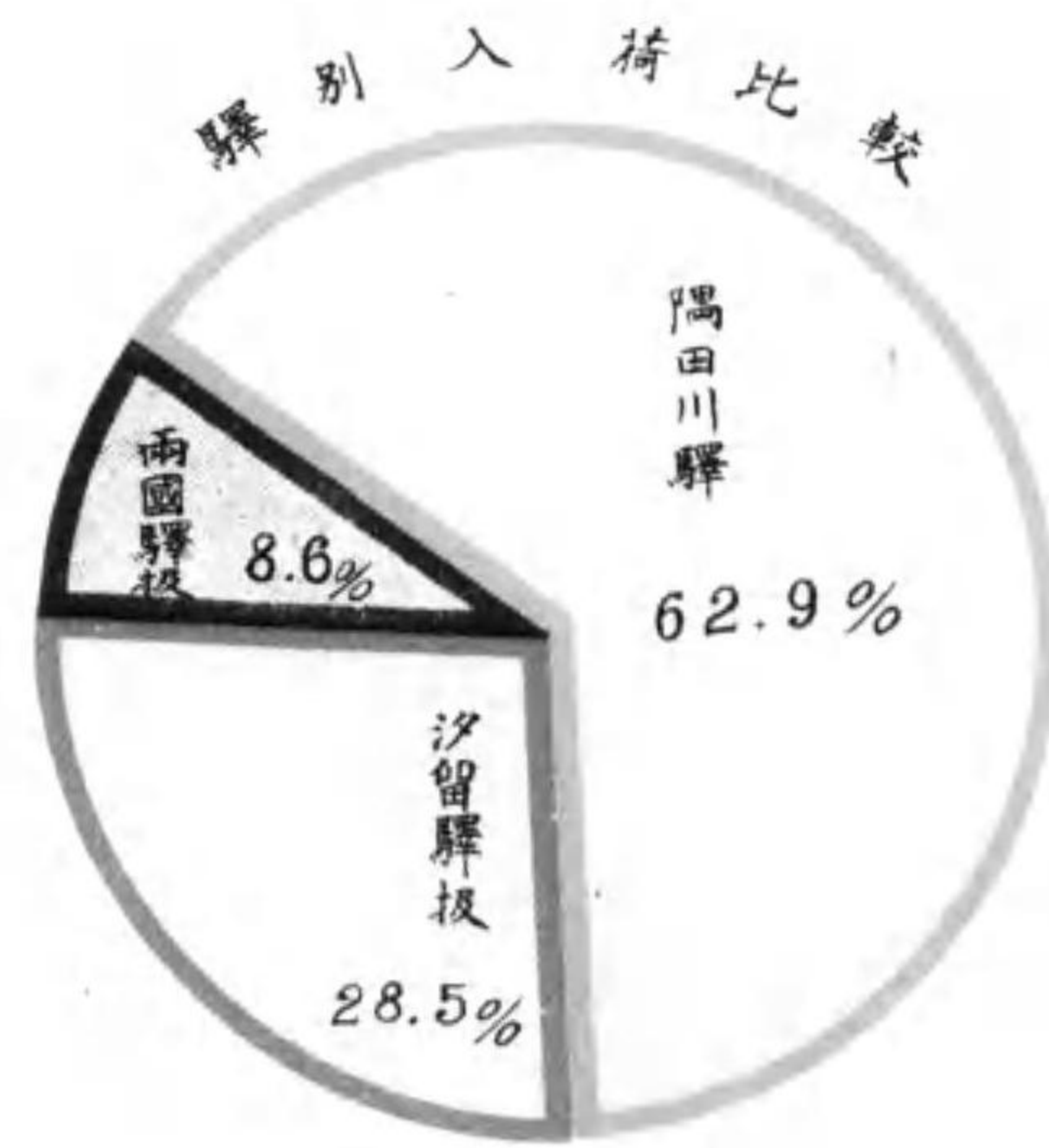
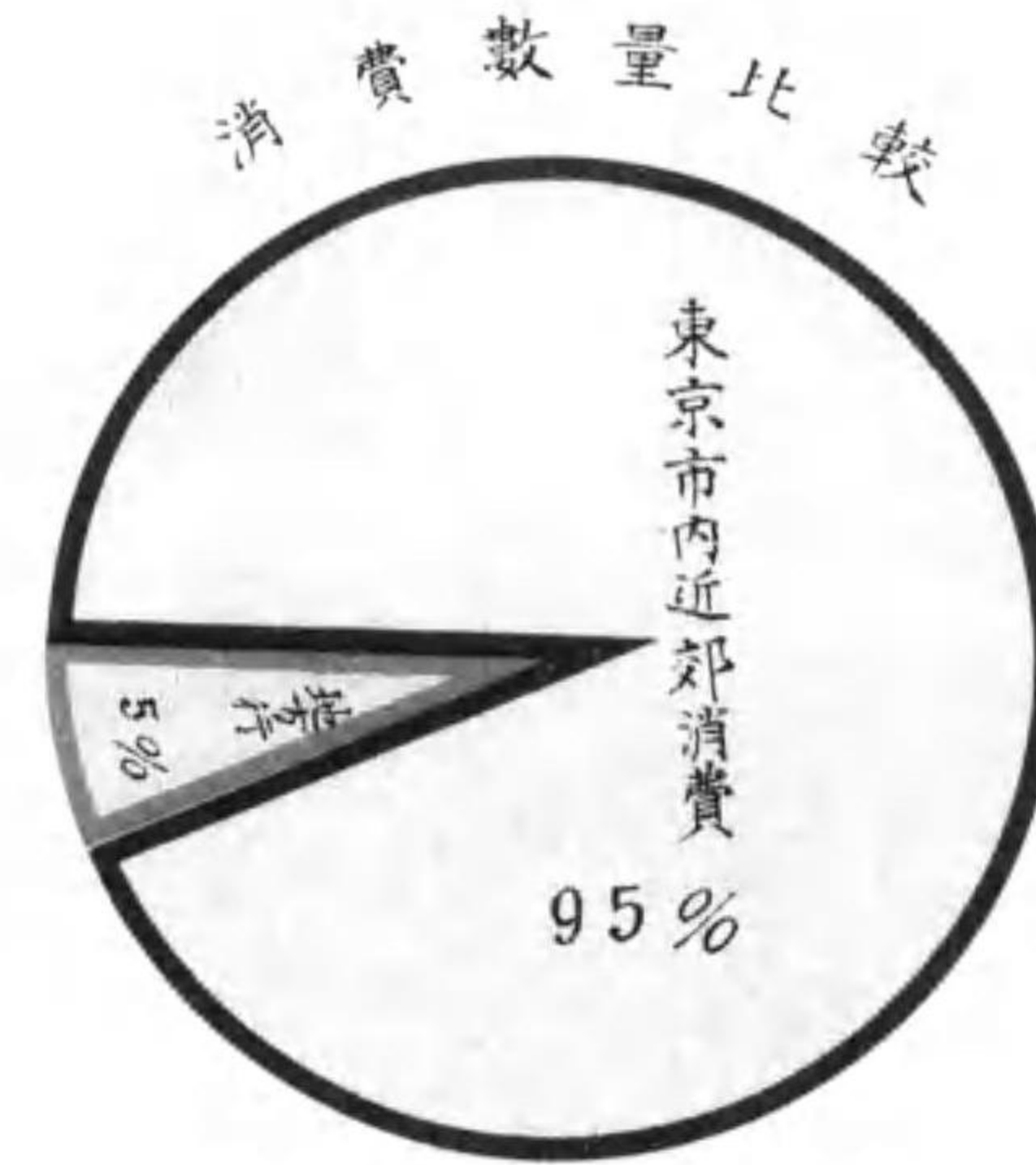
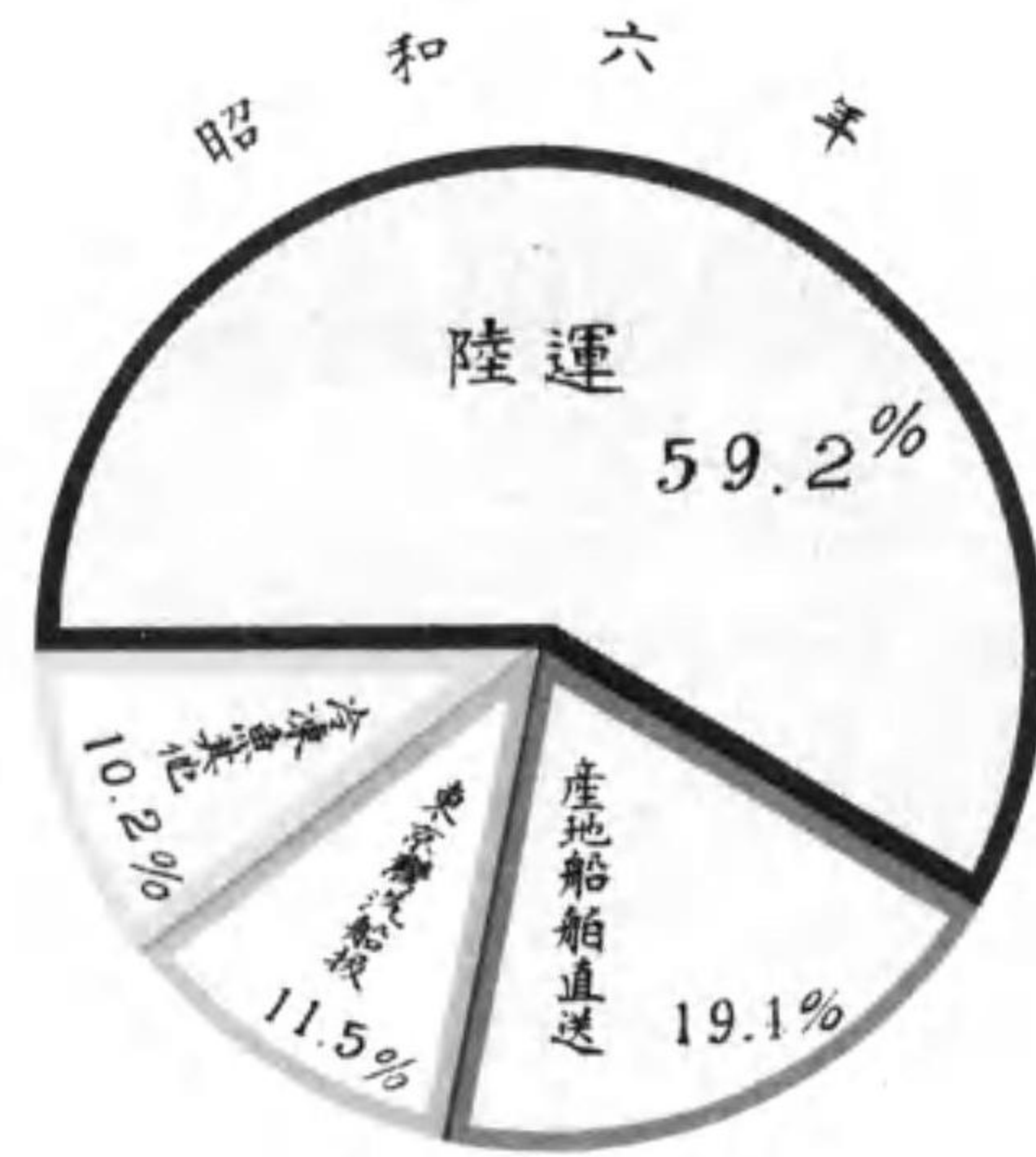
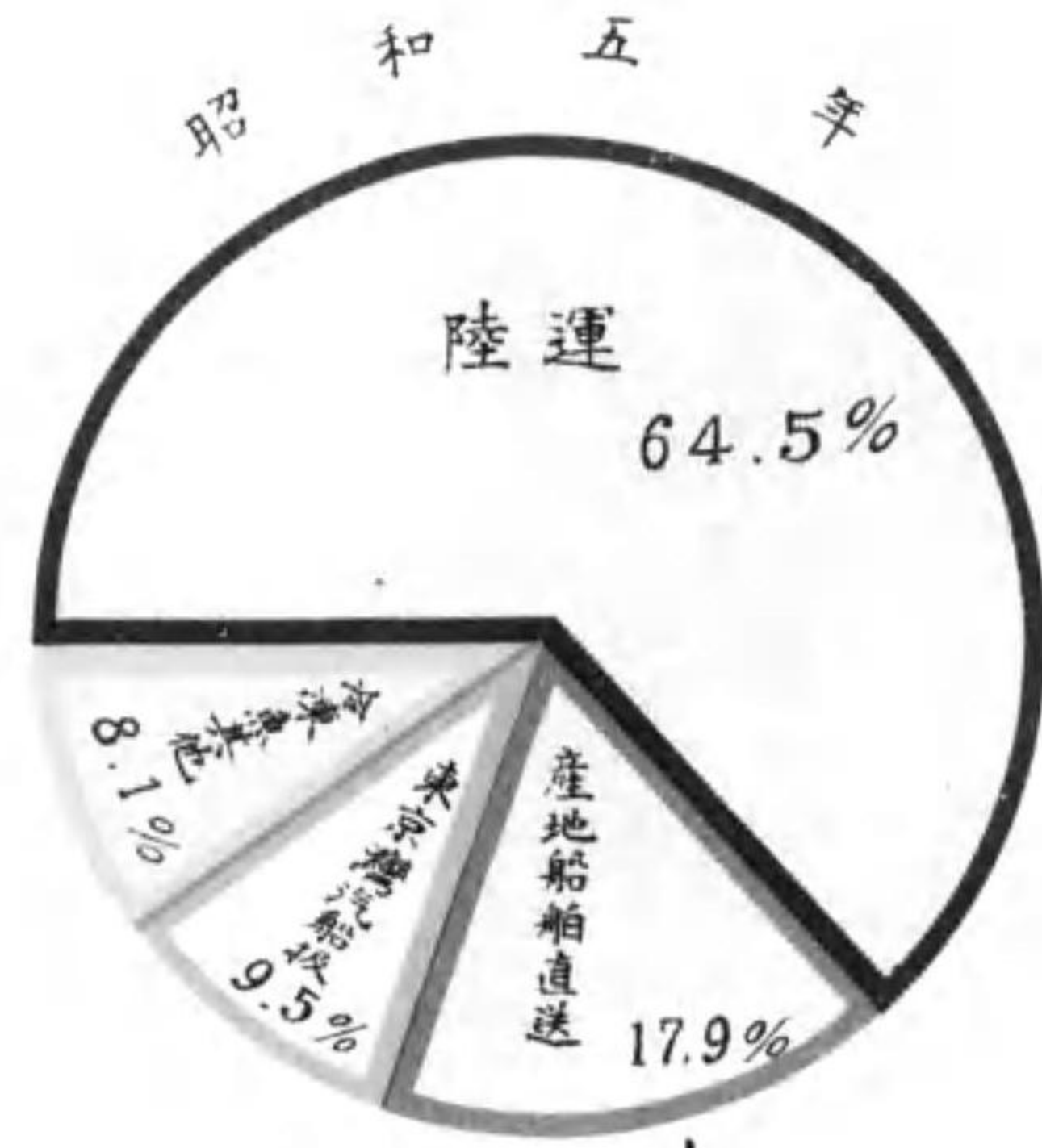
府縣名	魚名	府縣名	魚名
北海道 <small>(千島ヲ含ム)</small>	さけ、ます、かれひ類、たら、にしん、酢たこ、まぐろ、いか、ぼたんえび、さば、めぬき、さめ	滋賀縣	あゆ、うがひ
樺太	さけ、ます、たら	京都府	ぶり、さわら、いか、かに
青森縣	さけ、いか、さば、たら、さめ、ぼたんえび、赤貝	大阪府	—
岩手縣	まぐろ、かじき、めかじき、びんなが、かつを、いか、かれひ、ぶり、さめ、さんま、さば	兵庫縣	—
宮城縣	まぐろ、かぢき、めかぢき、びんなが、かつを、いか、かれひ、さめ、さんま、さば、たひ、かき、ぶり、めぬき	岡山縣	えび類
福島縣	まぐろ、かぢき、かつを、いか、たひ、さば、かれひ、あじ、いわし、ひらめ	廣島縣	たひ、かき、えび、貝類
秋田縣	まぐろ、たひ、さば、いわし、めぢ、さめ	山口縣	たひ、あまたひ、れんこたひ、めぢ、ぶり、あぢ、あまたひ、まぐろ、さわら、いわし、さめ、ぐち、さば、えび類
山形縣	たひ、さば、あまたひ、いわし、ひらめ	鳥取縣	まぐろ、めぢ、ぶり、いか、たひ、さば、あぢ、あゆ
茨城縣	まぐろ、たひ、ひらめ、さんま、いわし、さば、いか、すゝき	鳥根縣	まぐろ、たひ、いか、いわし
栃木縣	あゆ、こひ、どせう	香川縣	—
群馬縣	こひ、どせう	徳島縣	—
埼玉縣	こひ、どせう、うなぎ	愛媛縣	—
千葉縣	まぐろ、かぢき、たひ、さば、さんま、いか、あぢ、いわし、びんなが、ぶり、むつ、あまたひ、ひらめ	高知縣	えび、まぐろ、かつを、びんなが、めぢ
東京府 <small>(小笠原島及伊豆諸島ヲ含ム)</small>	まぐろ、かぢき、めばち、きはだ、びんなが、さびうな、あぢ、いわし、貝類、かつを、そうだかつを、さば	福岡縣	れんこたひ、あまたひ、いぼたひ、えび類、ぐち、えそ
神奈川縣	まぐろ、かぢき、めばち、きはだ、びんなが、さめ、いさき、むつ、ぼら	佐賀縣	たひ、さわら、めぢ、芝えび
静岡縣	かつを、めぢ、かぢき、たひ、あまたひ、ぶり、そうだ、えび類、いわし、あぢ、さば、櫻えび、こひ、うなぎ、さわら	長崎縣	たひ、れんこたひ、ちこたひ、ぶり、さわら、かぢき、ぐち、あまたひ、えび類
愛知縣	たひ、あぢ、さば、いなだ、いわし、めごち、こはだ	熊本縣	えび類、あゆ
山梨縣	あゆ、こひ	鹿兒島縣	まぐろ、かぢき、めぢ、いせえび、とびうを
岐阜縣	あゆ	大分縣	えび類
長野縣	こひ	宮崎縣	まぐろ、めぢ
新潟縣	たひ、さば、いわし、ます、ひらめ、さより、このし	沖繩縣	—
富山縣	たひ、ます、さより、いか、さば、ぶり、えび、まぐろ	臺灣	かぢき、きはだ、たひ
石川縣	まぐろ、めぢ、ぶり、いなだ、いわし、いか、たら、さば	朝鮮	さば、いわし、にしん、大正えび、芝えび、平貝、すつぼん
福井縣	まぐろ、めぢ、ぶり、さば、あぢ、いか、とびうを、いわし、いなだ、わらさ	關東州	大正えび
三重縣	たひ、あぢ、さば、いなだ、いわし、めごち、こはだ	露領	さけ、ます
和歌山縣	あなご、伊勢えび	沿海州	さけ、ます
奈良縣	まぐろ、めぢ、びんなが、ぶり、いか、とびうを、かながしら、いせえび、かつな	米國	冷凍えび

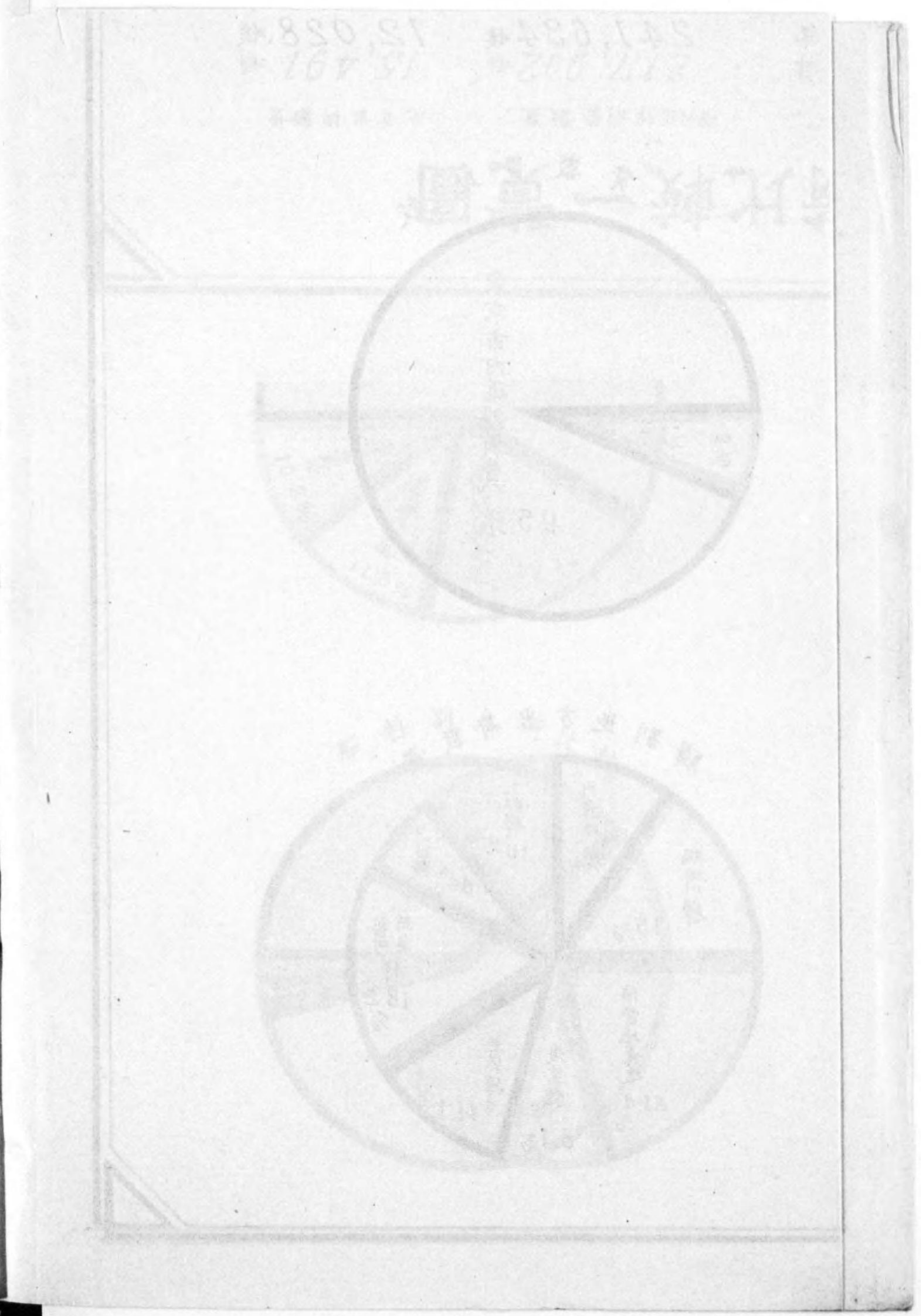
重要魚類卸賣相場指數表

産地	魚名	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	産地	魚名	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	
近海産	まぐろ	100	91	78	89	81	79	73	76	關西産	まかぢき	100	92	82	87	81	74	74	70	
	まかぢき	100	97	88	87	88	84	70	62		まぐろ	100	78	70	65	70	59	55	—	
	きはだ	100	95	90	100	96	69	59	59		びんなが	100	90	64	73	79	64	44	—	
	めぢ	100	97	86	82	70	70	58	54		またひ	100	89	85	93	97	114	109	86	
	かつを	100	94	87	68	64	70	55	52		れんこたひ	100	93	103	138	125	128	148	150	
	そうだかつを	100	93	89	71	86	76	48	—		あぢ	100	96	88	80	84	76	68	60	
	ぶり	100	91	74	79	81	81	72	58		さば	100	94	89	73	73	83	61	44	
	またひ	100	94	90	88	91	97	90	97		ぶり	100	92	70	70	84	76	62	75	
	まこたひ	100	92	101	86	88	93	82	82		さわら	100	75	78	119	136	105	113	110	
	はなたひ	100	91	93	94	94	99	91	89		ひらめ	100	100	97	107	107	114	110	110	
	さわら	100	98	97	88	94	87	68	76		くるまえび	100	113	102	112	106	110	70	67	
	むつ	100	115	95	90	95	80	65	55		すえび	100	110	110	110	108	99	78	68	
	ぼら	100	95	68	66	84	68	68	63		くまえび	100	115	114	108	114	113	88	77	
	すゞき	100	86	83	85	86	83	83	63		三陸産	まぐろ	100	92	72	80	93	70	57	55
	ひらめ	100	97	102	103	107	109	96	85			めぢ	100	96	77	65	65	77	58	40
	いさき	100	87	88	85	75	92	65	65			ばらめぬき	100	94	81	81	81	69	62	54
	さば	100	93	93	88	85	85	65	69			ぶり	100	92	79	97	92	95	81	60
ゆでだこ	100	92	81	75	83	73	58	47	かつを	100		94	85	71	79	68	42	42		
くるまえび	100	109	112	109	109	98	84	93	ひらめ	100		100	98	94	94	110	76	68		
しばえび	100	184	207	218	246	120	76	135	すゞき	100		98	98	93	102	95	85	67		
こはだ	100	100	97	105	89	74	58	45	大ぎす	100		76	72	62	62	62	59	47		
きす	100	97	119	121	108	110	92	129	さんま	100		77	100	129	110	119	91	70		
さより	100	87	101	96	108	122	138	133	北海産	まぐろ		100	108	62	62	63	43	43	37	
大あぢ	100	109	117	109	109	107	101	88		まがれひ		100	95	95	90	95	100	81	55	
いわし	100	105	80	90	90	80	60	35		ます		100	100	77	91	91	68	72	35	
さんま	100	82	86	94	70	88	70	85		さけ		100	114	100	100	121	95	79	66	
										平均		100	97	91	92	94	88	75	69	

東京市魚市場魚類入荷及地方出荷比較一覽圖

	一ヶ年入荷總噸數	一日平均	内譯			市内近郊消費數量	地方出荷數量
			陸運	海運			
昭和五年	233,393 噸	664 噸	陸運 482 噸 73%	海運 182 噸 27%	昭和五年	217,902 噸	15,491 噸
昭和六年	253,662 噸	720 噸	陸運 499 噸 69%	海運 211 噸 31%	昭和六年	241,634 噸	12,028 噸





144
691

終

